

令和3年度

定期監査結果報告書

富士宮市監査委員



## 目 次

1	監 査 の 種 類 .....	1
2	監 査 の 対 象 .....	1
3	監 査 の 範 囲 .....	1
4	監 査 の 期 間 .....	1
5	監 査 の 実 施 場 所 .....	1
6	監 査 の 実 施 内 容 .....	2
7	監 査 の 方 法 .....	2
8	監 査 の 結 果 .....	2
	◇ 総 務 部	
	◎ 行 政 課 .....	3
	◎ 人 事 課 .....	5
	◎ 契 約 管 理 課 .....	7
	◎ 工 事 検 査 課 .....	9
	◇ 企 画 部	
	◎ 企 画 戦 略 課 .....	11
	◎ 富 士 山 世 界 遺 産 課 .....	13
	◎ 秘 書 課 .....	15
	◎ 広 報 課 .....	16
	◎ デ ジ タ ル 推 進 課 .....	18
	◇ 財 政 部	
	◎ 財 政 課 .....	20
	◎ 資 産 活 用 課 .....	23
	◎ 収 納 課 .....	25
	◎ 市 民 税 課 .....	27
	◎ 資 産 税 課 .....	29
	◇ 市 民 部	
	◎ 市 民 生 活 課 .....	31
	◎ 市 民 交 流 課 .....	34
	◎ 市 民 課 .....	36
	◎ 出 張 所 .....	38
	◎ 保 険 年 金 課 .....	50

◇ 産 業 振 興 部	
◎ 農 業 政 策 課 .....	53
◎ 観 光 課 .....	55
◎ 商 工 振 興 課 .....	57
◇ 環 境 部	
◎ 環 境 企 画 課 .....	59
◎ 生 活 環 境 課 .....	61
◎ 花 と 緑 と 水 の 課 .....	63
◎ 清 掃 セ ン タ ー .....	65
◇ 保 健 福 祉 部	
◎ 福 祉 企 画 課 .....	67
◎ 高 齢 介 護 支 援 課 .....	69
◎ 障 が い 療 育 支 援 課 .....	71
◎ 福 祉 総 合 相 談 課 .....	73
◎ 子 ど も 未 来 課 .....	75
◎ 健 康 増 進 課 .....	78
◇ 都 市 整 備 部	
◎ 管 理 課 .....	80
◎ 道 路 課 .....	82
◎ 河 川 課 .....	84
◎ 都 市 計 画 課 .....	86
◎ 都 市 整 備 課 .....	88
◎ 建 築 住 宅 課 .....	89
◇ 水 道 部	
◎ 水 道 業 務 課 .....	92
◎ 水 道 工 務 課 .....	92
◎ 下 水 道 課 .....	95
◇ 危 機 管 理 局 .....	98
◇ 市 立 病 院 .....	100
◇ 会 計 管 理 局 .....	103
◇ 消 防 本 部 .....	105

◇ 教 育 部	
◎ 教 育 総 務 課	109
◎ 学 校 教 育 課	111
◎ 社 会 教 育 課	113
◎ 文 化 課	115
◎ ス ポ ー ツ 振 興 課	117
◎ 学 校 給 食 セ ン タ ー	119
◎ 中 央 図 書 館	121
◎ 小 学 校	124
◎ 中 学 校	124
◇ 市 議 会 事 務 局	128
◇ 選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局	129
◇ 農 業 委 員 会 事 務 局	131



## 1 監査の種類

監査の名称 令和3年度定期監査  
根拠法令 地方自治法第199条第1項及び第4項

## 2 監査の対象

総務部	行政課、人事課、契約管理課、工事検査課
企画部	企画戦略課、富士山世界遺産課、秘書課、広報課、デジタル推進課
財政部	財政課、資産活用課、収納課、市民税課、資産税課
市民部	市民生活課、市民交流課、市民課、出張所、保険年金課
産業振興部	農業政策課、観光課、商工振興課
環境部	環境企画課、生活環境課、花と緑と水の課、清掃センター
保健福祉部	福祉企画課、高齢介護支援課、障がい療育支援課、福祉総合相談課、子ども未来課、健康増進課
都市整備部	管理課、道路課、河川課、都市計画課、都市整備課、建築住宅課
水道部	水道業務課、水道工務課、下水道課
危機管理局	
市立病院	
会計管理局	
消防本部	
教育部	教育総務課、学校教育課、社会教育課、文化課、スポーツ振興課、学校給食センター、中央図書館、小学校、中学校
市議会事務局	
選挙管理委員会事務局	
農業委員会事務局	

## 3 監査の範囲

令和3年4月1日から監査基準日までの財務に関する事務事業の執行及び経営に関する事業の管理

## 4 監査の期間

令和3年8月17日から令和4年2月7日まで

## 5 監査の実施場所

監査委員室なお、市立病院、小学校、中学校及び保育園については現地

## 6 監査の実施内容

富士宮市監査基準に基づき、財務に関する事務執行及び経営に関する事業の管理が法令に適合し、正確で、最小の経費で最大の効果を挙げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めているか、また、前回の要望事項等について、改善、整備のための努力がなされたかを主眼とし実施しました。

## 7 監査の方法

関係諸帳簿及び証拠書類等により事前監査を実施するとともに、関係職員に、予算及び事務事業の執行状況を確認しました。

## 8 監査の結果

監査を実施した事務事業は、所期の目的に沿って執行され、その経理手続き事務処理は概ね適正と認められ、公表すべき指摘事項はありません。

なお、留意及び改善すべき軽微な事項については、口頭で指摘したので省略します。

監査の概要は次のとおりです。

(注) 百分率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入としました。

◇ 総 務 部

◎ 行政課

1 職員の配置状況(令和3年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	選挙管理委員会事務局長を併任
参 事	1		1	
文 書 法 規 係	4	2	6	
行 政 経 営 係	3		3	
計	10	2	12	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

行政サービスの質を維持しながら、社会情勢に応じた分散勤務が実施できるように要望します。

(2) 処理済の事項

分散勤務の実施につきましては、富士宮市職員の分散勤務の実施に関する基準において規定しております。

開始に当たりましては、市内の感染状況が国の指標のステージ4に当たる段階になったときを目安に、対策本部長が行政サービスの維持、社会情勢等も含め総合的に判断して決定することとしております。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和3年10月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
200,000	99,530	97,050	2,480	48.5	97.5

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
22,293,000	11,110,544	11,182,456	49.8

### 4 要望事項等

市の状況に合わせ、行政サービスの質を維持しながら、分散勤務が実施できるよう実施方法の再検討を行いました。職員の勤務体制については、感染症だけでなく、緊急時に迅速な対応ができるよう引き続き検討を行うよう要望します。

## ◎ 人 事 課

### 1 職員の配置状況(令和3年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	互助会事務局長を併任
人 事 研 修 係	6	7	13	
給 与 厚 生 係	4	2	6	
計	11	9	20	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

職員の知識習得や能力開発のため、様々な研修を実施しています。職員一人一人の知識習得が行政サービス及び事務処理能力の向上につながることから、引き続き職員研修に力を入れることを要望します。

#### (2) 処理済の事項

職員研修は職員が職務を遂行するうえで必要な知識や技術を習得すること及び資質や教養の向上を目的とすることから、毎年度職員研修計画を策定し、計画に基づき実施しています。

なお、今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、外部講師を招へいしでの対面形式での研修や、首都圏、関西圏など研修所への職員の派遣が困難な状況にありますので、対面による効果が必要な実践型研修の一部を除き、ほとんどがオンライン研修に切り替えて実施しています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和3年10月4日現在)

#### (1) 歳 入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
9,658,000	1,034,350	1,034,350	0	10.7	100.0

#### (2) 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,657,224,000	599,605,461	1,057,618,539	36.2

## 4 職員研修の状況(令和3年9月30日現在)

(単位:講座・人)

研修区分	講座数	延人員	備考
基本研修	11	661	新規採用職員研修、管理者研修ほか
職場研修	1	—	日常の業務を通じて行う研修
派遣研修	20	54	富士市・富士宮市合同研修、地方自治法研修ほか
専門研修	3	99	保育士リーダー養成講座、不当要求防止責任者講習
特別研修	4	330	通信教育講座、ハラスメント防止研修ほか
その他の研修	1	53	実務基礎研修
計	40	1,197	

## 5 要望事項等

長時間勤務者が増加傾向にあることから、長時間勤務になっている要因を抽出し、ダブルワークの活用等、長時間勤務の縮減に向けた検討を行うよう要望します。

## ◎契約管理課

### 1 職員の配置状況(令和3年10月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
契約係	4		4	
施設管理係	2	17	19	
計	7	17	24	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

入札の透明性、公平性の確保に努めるとともに、建設工事の施工時期の平準化に取り組んでいます。建設事業執行計画で予定されている工事等について、計画的に入札を実施し早期に発注できるよう、今後も工事主管課と連携した取り組みを要望します。

#### (2) 処理済の事項

計画的な建設工事の早期発注を図るため、工事検査課及び工事主管課と連携し、施工時期の平準化に努めました。

具体的には、令和2年度2月定例市議会で承認を得て、債務負担行為を設定した工事(21件)について、令和2年度中に入札を実施し、令和3年度早々に工事が着工できるようにいたしました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和3年10月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
26,442,000	20,729,424	19,946,872	782,552	75.4	96.2

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
686,298,000	270,630,456	415,667,544	39.4

## 4 工事請負契約締結件数の状況(令和3年10月1日現在)

(単位:件)

区 分	一般競争 入 札	指名競争 入 札	公募型指名 競争入札	随意契約	計
130万円超	0	1	20	3	24
500万円未満	( 0 )	( 0 )	( 13 )	( 1 )	( 14 )
500万円以上	0	0	17	1	18
1,000万円未満	( 0 )	( 0 )	( 11 )	( 2 )	( 13 )
1,000万円以上	17	1	34	0	52
	( 20 )	( 2 )	( 42 )	( 1 )	( 65 )
計	17	2	71	4	94
	( 20 )	( 2 )	( 66 )	( 4 )	( 92 )

(注) 下欄( )は、前年度同期

## 5 要望事項等

施工時期の平準化に努めた結果、好評な意見が多く問題もなかったことから、引き続き、関係課と連携しながら土木建設工事の平準化に取り組むよう要望します。

## ◎ 工 事 検 査 課

### 1 職員の配置状況(令和3年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
検 査 係	3		3	
計	4	0	4	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

建設業者の技術向上並びに育成及び工事の安全対策の徹底のため、引き続き研修及び指導を実施するよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

例年実施している市内建設業者への研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度は中止しました。

また、建設技術の向上と適正な施工を推進し、併せて建設業の育成、発展を図ることを目的とした建設工事表彰を、受賞者のみを対象に実施しました。

研修が中止となったため、指導として工事検査時に建設工事受注者に現場の安全対策の徹底をお願いしています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

今年度実施できなかった市内建設業者研修の代替として、建設業者に対して、新技術等の情報提供を行ってまいります。来年度以降、研修内容を検討し、引き続き研修を実施していきます。

また、検査時の指導を継続していきます。

### 3 予算の執行状況(令和3年10月4日現在)

#### (1) 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
37,068,000	17,883,941	19,184,059	48.2

## 4 工事検査の状況(令和3年9月30日現在)

(単位:件・円)

工事担当課	完成検査		その他の検査				
	件数	金額	既済部分	中間	材料	材料製造	部分払
道路課	18	150,359,000	0	0	0	0	0
河川課	5	28,512,000	0	0	0	0	0
資産活用課	6	329,571,000	0	2	1	0	0
水道工務課	11	259,017,000	0	3	0	0	0
下水道課	0	0	0	0	0	0	1
建築住宅課	3	18,436,000	0	0	0	0	0
観光課	2	59,411,000	0	0	0	0	0
計	45	845,306,000	0	5	1	0	1

## 5 要望事項等

市主催の技術職員研修は、毎年テーマを決めて実施しており、職員の意識向上に繋がっています。様々な研修に参加することは、職員の情報収集の場としても期待でき、技術の向上にも役立つものと考えられることから、今後も多数の職員が積極的に研修に参加するよう呼びかけることを要望します。

## ◇ 企 画 部

### ◎ 企画戦略課

#### 1 職員の配置状況(令和3年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
室 長	1		1	地域政策推進室室長
企画調整係	3		3	
地域政策推進室	4	2	6	
計	10	2	12	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

テレワークの普及拡大は、地方への移住・定住政策にとって好機と考えられます。自然豊かな中での暮らしに憧れる首都圏の人にとっては、絶好の生活環境である当市をPRするよう、積極的なシティーセールスに取り組むことを要望します。

##### (2) 処理済の事項

昨年度、首都圏シティーセールス事業において、テレワーク・ワーケーションモニターツアーや、アンケートキャンペーンを通じて、富士宮の魅力を実践しました。引き続き、市ホームページや特設ウェブサイトにて周知を図っています。

また、若い世代への周知を目的に、人気フォトグラファーが実際に市内でワーケーションを実施し、滞在施設や移住者へ取材を行い、ライフスタイルマガジンの公式SNSや雑誌で情報発信しました。

移住定住促進事業においては、出展した移住のイベントについて検証を行い、出展するイベントの見直しを行いました。

なお、移住のイベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響により従来のイベントの開催が不可能になったことから、オンラインでの相談受付がメインとなっています。

このように、事業の検証や分析を行いながら、事業目的の達成に向けて取り組んでいきます。

##### (3) 未処理事項の処理予定

コロナ禍において、アウトドアに注目が集まる中、今年度は首都圏をはじめとする県外から、20～30代のキャンプ初心者女性を招き、キャンプモニターツアーを実施します。モニターには、富士山を間近に見ながら、地元食材を使ったキャンプ飯へのチャレンジやアクティビティ体験を通じた地域の人との交流や、ふるさと納税返礼品にもなっているキャンプ用品の試用など、富士宮市ならではのキャンプを体験してもらいます。ツアー終了後には、特設ウェブサイトを作成し、富士宮をPRします。

併せて、本誌のふるさと納税寄附者約10万人に、本取組及びアンケートキャンペーンの案内を行い、富士宮市の魅力を広く発信していきます。

### 3 予算の執行状況(令和3年10月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,792,491,000	1,091,116,173	996,250,173	94,866,000	35.7	91.3

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,347,525,000	289,647,066	1,057,877,934	21.5

### 4 要望事項等

ふるさと納税需要の高まりを受け、ふじのみや寄附金事業の寄附金実績も増加しています。人気返礼品については安定供給ができるよう生産者と調整を密に行い、また、新たな返礼品の企画、開発ができるよう、引き続き、市内生産者との連携を図るよう要望します。

## ◎ 富士山世界遺産課

### 1 職員の配置状況(令和3年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
企 画 係	3		3	
計 画 推 進 係	3		3	
計	7	0	7	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

平成26年度に策定した「富士宮市世界遺産のまちづくり整備基本構想」に位置付けされた事業が進んでいます。構想制定から6年が経過したことから、事業の進捗状況について市民にモニタリングを行うなど確認、検証を行うよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

令和2年11月13日から11月30日までを調査期間とする令和2年度市民アンケート（主管：広報課）において、世界遺産のまちづくりについての質問を設け、結果を分析しました。

##### 【質問内容】

- ①富士山本宮浅間大社周辺の満足度（景観・にぎわい・訪れやすさ）
- ②構成資産への来訪及び認知状況
- ③白糸ノ滝周辺整備及び整備内容の認知の状況

##### 【分析結果の概要】

- ①新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも構想の推進が中心市街地のにぎわい創出に寄与していることが認められるため今後も引き続き推進する。
- ②30歳代以下の認知状況が低い傾向があることから若い世代への関心惹起が課題である。
- ③エントランス等主要部分については整備状況の認知度が高いが、更なる整備推進に当たり市民の理解が必要であることから今後さらに整備の必要性等周知していく必要がある。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和3年10月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
13,295,000	3,959,936	3,959,936	0	29.8	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
71,454,000	3,449,915	68,004,085	4.8

### 4 要望事項等

若年層の構成資産に対する認知度が低いため、若い世代の関心を高める取り組みが課題となっています。市内小中学生に対し配布した構成資産学習冊子を活用した出前講座の開催は、児童、生徒が関心を持つ取り組みとして有効であるため、関係部署と連携し、多くの学校で出前講座が開催できるよう要望します。

## ◎ 秘 書 課

### 1 職員の配置状況(令和3年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
秘 書 係	4		4	
計	5	0	5	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

市長、副市長の指示が、迅速かつ的確に伝達されるように庁内の調整役として、日頃から各部署との連携、調整を図るよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

市長、副市長の指示等、迅速かつ的確に伝達し、各部署との連携、調整を図るよう努めておりますが、さらに意を払って参ります。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和3年10月4日現在)

#### (1) 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
8,434,000	3,344,264	5,089,736	39.7

### 4 要望事項等

市長、副市長の日程調整には、日々留意されています。調整がゆとりをもって行えるよう各課との情報共有を引き続き図っていくよう要望します。

## ◎ 広 報 課

### 1 職員の配置状況(令和3年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
広聴広報係	5		5	
計	6	0	6	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

「やさしい日本語」検討会は、職員の情報発信力の向上につながる取り組みです。この検討会で得られた知識や情報が庁内外で活用できるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

職員の情報発信の向上に繋がる取り組みとして、広報課が、各課で発行している案内チラシやホームページの中から3課4種類のものを取り上げ、やさしい日本語の視点から見直して、改善案を各課に提案できるよう取り組んでいます。

また、庁内のパソコンを起動した際に、やさしい日本語の心得が表示されるように設定し、職員に意識付けをしています。

市民向けには、広報ふじのみやに、やさしい日本語のコーナーを設け、毎月、事例を掲載しています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和3年10月4日現在)

#### (1) 歳 入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
1,320,000	1,240,000	1,240,000	0	93.9	100.0

#### (2) 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
26,465,000	9,040,314	17,424,686	34.2

#### 4 要望事項等

市が発信する情報を市民がわかりやすく、手軽に取得できるよう様々なツールを用意し活用しています。情報は迅速かつ正確に伝える必要があることから、今後も各課と連携しながら利用の幅を広げ積極的な活用を要望します。

## ◎デジタル推進課

### 1 職員の配置状況(令和3年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
企 画 統 計 係	4	1	5	
シ ス テ ム 係	5		5	
計	10	1	11	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

国が推進する行政のデジタル化政策は、急激に導入が進む可能性があるため、その対応に遅れることがないよう情報収集に努め、費用対効果を検討しながら住民サービスの質的向上に努めるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

「デジタル・ガバメント実行計画」における自治体の情報システムの標準化・共通化、行政手続のオンライン化等に取り組むに当たり、庁内横断的な体制を整備し、更なるデジタル化推進を図るため、部長会議構成員等による富士宮市デジタル化推進会議を設置しました。

富士宮市デジタル化推進会議では、デジタル化推進のための情報共有、意識向上に向けての取組等の調整を図ることを目的に、デジタル化に向けた国の動向、富士市との共同電算化事業と業務システムの標準化・共通化との関連、デジタル推進にかかる事業等の情報共有を行いました。

また、外部識者による講演を行い、自治体DXの推進における国の動向、スケジュール、これから変わること取り組むべきこと等について、意識付けを行いました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

今後は、自治体が着実にDXに取り組むことができるよう、国が作成した「自治体DX推進手順書」に基づく第6次富士宮市情報化計画を策定していきます。その中で、自治体情報システムの標準化・共通化、行政手続きのオンライン化等について、市民サービスの質向上や更なる行政の事務効率化の見込めるデジタル技術の導入等について取り組める方針の記載等について取り組んでまいります。

3 予算の執行状況(令和3年10月4日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
73,434,000	11,541,280	11,541,280	0	15.7	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
914,109,000	347,788,331	566,320,669	38.0

4 要望事項等

第6次富士宮市情報化計画を策定していますが、デジタル化に向けた国の動向を把握し、計画が住民サービスの質の向上及び行政事務の効率化に繋がるよう庁内の統制を図るよう要望します。

# ◇ 財 政 部

## ◎ 財 政 課

### 1 職員の配置状況(令和3年10月1日現在) (単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
財 政 係	6		6	
計	8	0	8	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

県内他市と比較しても健全な財政運営を続けています。予算編成に当たっては、景気が先行き不透明なため、さらなる事業の選択と集中を行うと共に適時適切な運営に努め、将来の世代に過度な負担が回ることがないように要望します。

#### (2) 処理済の事項

令和2年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症対策として要請した自粛等の影響により、個人消費を中心とした大幅な内需の減少と、より強制力のある感染症対策を実施した諸外国への輸出の大幅な減少により、これまでにない厳しい状況となりました。

このような状況の下、本市の財政状況は令和元年度との比較において、歳入では、市民税5億9,998万円(△6.5%)が要因となり、根幹である市税が減額するとともに、歳出では、性質別において、扶助費が約7億3,725万円(+8.0%)増額となりました。

このような厳しい傾向は、今後も続くものと想定される中、社会保障費や公共施設の長寿命化への対策等も含めた持続可能な財政運営の確立が重要であるという視点に立ち、本市独自の財政規律を踏まえ、効率的な財政運営を推進していくための施策、事業の選択と集中化、歳入確保に向けて国・県支出金等の情報収集や新たな財源の捻出などに努めました。

<参考>

#### ○令和2年度決算における主な財政指標

- ①実質収支比率7.0% (R1:9.2%)
- ②経常収支比率90.2% (R1:88.3%)
- ③財政健全化判断比率
  - ・実質公債費比率2.2% (R1:2.4%)
  - ・将来負担比率7.7% (R1:13.9%)
- ④市債残高(一般会計)
  - 33,272,558千円 (R1:32,821,200千円)
- ⑤財政調整基金
  - ・新規積立1,799,965千円、取崩1,547,900千円
  - ・残高 5,267,007千円 (R1:5,014,942千円)
- ⑥主な特定目的基金への新規積立
  - ・社会福祉施設整備 201,410千円
  - ・庁舎整備 208,191千円
  - ・ふるさと応援 157,041千円
  - ・職員退職手当 100,039千円
  - ・世界遺産富士山 20,390千円

(3) 未処理事項の処理予定

○令和3年度予算における健全化措置

(9月補正後)

基金の新規積立て

・財政調整	1,542,280千円
※取崩し	1,570,000千円
・庁舎整備	300,203千円
・学校施設整備	300,143千円
・ふるさと応援	200,071千円
・職員退職手当	100,054千円
・世界遺産富士山	19,010千円
・新型コロナウイルス感染症対策	12,714千円

3 予算の執行状況(令和3年10月4日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
13,363,164,000	5,851,204,869	5,851,204,869	0	43.8	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
7,826,241,000	3,700,730,051	4,125,510,949	47.3

## 4 市債の借入状況(一般会計)

(単位:千円)

借入先	2年度末 現在高	3年度 借入額 (4/1~9/30)	3年度 償還元金 (4/1~9/30)	3年10月1日 現在高
財務省財政融資資金	23,179,687	0	974,518	22,205,169
(旧)簡易生命保険資金	1,422,943	0	154,825	1,268,118
地方公共団体金融機構資金	4,353,175	0	125,770	4,227,405
清水銀行	1,857,956	0	114,106	1,743,850
富士宮信用金庫	495,088	0	17,190	477,898
富士信用金庫	156,867	0	68,023	88,844
富士宮農協	557,900	0	0	557,900
市町村職員共済組合	521,954	0	26,413	495,541
市町村振興協会	254,900	0	18,097	236,803
都市自治振興協会	372,990	0	28,270	344,720
全国市有物件災害共済会	99,098	0	15,187	83,911
計	33,272,558	0	1,542,399	31,730,159

## 5 要望事項等

市税の伸び悩みなど収支予測が立てにくい中、決算剰余金の基金への積立てや経常的経費の抑制といった健全化対策に努めています。今後も先行きは不透明であることから、国、県支出金など財源の確保に努めるとともに、支出に対しては、事業の見直しを図りつつ、予算を効率的、効果的に執行するよう要望します。

## ◎資産活用課

### 1 職員の配置状況(令和3年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	土地開発公社事務局長を 兼務
管 財 係	4		4	土地開発公社事務局 係長を兼務1 主査を兼務2 事務員を兼務1
長 寿 命 化 推 進 係	4	1	5	産前休暇中1
施 設 保 全 係	8		8	
計	17	1	18	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

施設所管課との事前協議制度については、公共施設再編計画に沿っているか検証を行うことに有効です。今後の人口減少や社会情勢の変化により、公共施設の集中化を図る必要性が予想されることから、施設管理のコントロールタワーとしての役割を担い、引き続き施設所管課と連携を図るよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

今年度から導入した事前協議制度により、公共施設の適正規模・配置に向けた全庁的な取り組み体制が整い、具体的な再編案件が発生した際の適正な対応が可能となりました。今年度は、2施設の改築案件について、事前協議制度を活用した協議を施設所管課と行っています。今後も、積極的に事前協議制度を活用し、施設所管課と連携を図りながら公共施設等総合管理計画・公共施設再編計画に基づいた適切な公共施設整備に努めます。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和3年10月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
25,673,000	15,077,426	13,361,298	1,716,128	52.0	88.6

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
33,092,000	590,886	32,501,114	1.8

### 4 土地貸付収入の状況(令和3年10月4日現在) 77件

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
10,440,000	6,540,796	4,824,668	1,716,128	46.2	73.8

### 5 要望事項等

売却が見込める市有地については、今後の土地活用について整理し、また、市有地の売却を円滑に進めるため、国有地が介在する市有地については、国有地の払い下げや交換の交渉を積極的に行うよう要望します。

## ◎ 収 納 課

### 1 職員の配置状況(令和3年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
税 制 係	5	3	8	
納 税 係	11	4	15	
特 別 滞 納 対 策 係	3	2	5	
計	20	9	29	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

新型コロナウイルス感染症の影響が、市税の徴収にも及ぶと考えられることから、納付相談や納付指導にあたっては、納税緩和制度等を的確に活用して行うよう要望します。また、窓口業務では、引き続き、現金の取り扱い及び領収印、公印の管理を徹底するよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

納付相談等において、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことにより納付が困難と判断した場合は、特例徴収猶予の適用を適切に実施しました。特例制度適用期間満了後は、必要に応じて現行の徴収及び換価の猶予制度を適用して徴収猶予期間を設けています。

また、窓口での現金の取り扱いについては細心の注意を払い複数人で確認作業を行い、領収印、公印については使用後に所定の位置に必ず戻すなどの管理を徹底しています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和3年10月4日現在)

#### (1) 一般会計

##### ① 歳 入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
19,960,737,000	19,972,749,766	11,135,413,979	8,837,335,787	55.8	55.8

##### ② 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
249,335,000	129,701,538	119,633,462	52.0

(2) 国民健康保険事業特別会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,780,268,000	3,840,694,891	1,018,257,828	2,822,437,063	36.6	26.5

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
26,120,000	13,321,228	12,798,772	51.0

4 市税及び国民健康保険税の収納状況(令和3年10月4日現在)

(単位:円・%)

区 分		調定額 A	収入済額 B	収入率 B/A
市 税	市 民 税	8,156,747,072	4,134,119,372	50.7
	固 定 資 産 税	9,734,035,553	6,162,808,346	63.3
	軽 自 動 車 税	466,987,705	430,517,013	92.2
	市 た ば こ 税	370,261,636	370,261,636	100.0
	入 湯 税	5,686,050	5,338,950	93.9
	都 市 計 画 税	1,206,264,401	0	0.0
計		19,939,982,417	11,103,045,317	55.7
国 民 健 康 保 険 税		3,810,104,018	988,082,405	25.9

5 要望事項等

市税は市の財政基盤であることから、引き続き納税指導に応じない滞納者や約束不履行者に対しては厳しい姿勢で臨み、法律に基づいた的確な納税指導を行うよう要望します。

## ◎ 市民税課

### 1 職員の配置状況(令和3年10月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
市民税係	12	3	15	育児休業中2
法人諸税係	5		5	病気休暇中1
計	18	3	21	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

新型コロナウイルス感染症が、地域経済に甚大な影響を与えており、国や企業の収支決算、動向等を注視しつつ、市税確保のための確な賦課業務を行うよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

新型コロナウイルス感染症に対する国の動向や企業活動への影響を踏まえ、今後もの確な市税の賦課業務に努めてまいります。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和3年10月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
61,000	98,138	98,138	0	160.9	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
164,769,000	76,220,732	88,548,268	46.3

### 4 課税の状況

#### (1) 市民税

(単位:円・件)

区分	令和3年9月30日現在		令和2年9月30日現在		比較増減	
	金額	件数	金額	件数	金額	件数
個人	6,981,018,900	71,147	7,152,612,700	71,321	△ 171,593,800	△ 174
法人	805,260,000	2,134	969,200,700	2,132	△ 163,940,700	2
計	7,786,278,900	73,281	8,121,813,400	73,453	△ 335,534,500	△ 172

## (2) 軽自動車税 (環境性能割)

(単位:円・件)

令和3年9月30日現在		令和2年9月30日現在		比較 増 減	
金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数
9,987,300	583	6,527,900	375	3,459,400	208

## 軽自動車税 (種別割)

(単位:円・件)

令和3年9月30日現在		令和2年9月30日現在		比較 増 減	
金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数
435,876,700	59,421	421,901,100	59,120	13,975,600	301

## (3) 市たばこ税

(単位:円・本)

令和3年9月30日現在		令和2年9月30日現在		比較 増 減	
金 額	本 数	金 額	本 数	金 額	本 数
443,317,225	72,413,791	420,720,324	73,914,324	22,596,901	△ 1,500,533

## (4) 入湯税

(単位:円・件)

令和3年9月30日現在		令和2年9月30日現在		比較 増 減	
金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数
5,686,050	37,907	3,780,750	25,205	1,905,300	12,702

## 5 個人市民税の申告状況 (令和3年9月30日現在)

(単位:人・%)

申告書 提出者数	22,412	当初賦課前 提出者数	21,258	当初賦課後 提出者数	1,154
		(割合)	(94.8)	(割合)	(5.2)

## 6 要望事項等

市民税課税は経済情勢の影響を受けやすく、市の財政状況に直結することから、企業の動向等状況把握に努めるよう要望します。また、税制改正については、納税者とのトラブル防止のため、的確に周知を行い適正な賦課を行うよう要望します。

## ◎ 資 産 税 課

### 1 職員の配置状況(令和3年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
土 地 係	10	2	12	育児休業中1
家 屋 係	10	1	11	
計	21	3	24	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

令和3年度土地評価替えに伴い路線価の設定業務を行っていますが、課税誤りが発生しないよう、あらためて入力データに誤りがないか慎重な確認作業を要望します。

#### (2) 処理済の事項

令和3年度土地評価替えに伴う路線価設定業務を完了し、当初賦課処理を行いました。賦課処理において、委託業者から受領した成果品について、路線価等のデータをシステムに反映し手計算によりデータの誤りがないか確認後、納税通知書を作成・発送しました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和3年10月4日現在)

#### (1) 歳 入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
118,000	0	0	0	—	—

#### (2) 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
176,340,000	76,978,034	99,361,966	43.7

#### 4 課税の状況

##### (1) 固定資産税

(単位:円・件)

令和3年9月30日現在		令和2年9月30日現在		比較増減	
金額	件数	金額	件数	金額	件数
9,419,977,300	56,923	9,786,500,700	56,924	△ 366,523,400	△ 1

##### (2) 都市計画税

(単位:円・件)

令和3年9月30日現在		令和2年9月30日現在		比較増減	
金額	件数	金額	件数	金額	件数
1,168,481,800	36,204	1,217,352,800	36,117	△ 48,871,000	87

#### 5 償却資産の申告状況(令和3年9月30日現在)

(単位:人・%)

対象者数 A	申告者数 B	未申告者数	申告率 B/A
6,790	6,790	0	100.0

(注) 申告期限は、令和3年1月31日まで

#### 6 要望事項等

固定資産税は、市の財政の重要な財源であることから、課内で情報共有を図り、課税誤りが発生しないよう的確な賦課業務の執行を要望します。

## ◇ 市 民 部

### ◎ 市 民 生 活 課

#### 1 職員の配置状況(令和3年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
参事兼室長	1		1	
市民安全係	4	1	5	
くらしの相談係	2	9	11	
交通対策室	1	3	4	
計	10	13	23	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

宮バス・宮タク事業は、毎年事業評価を実施し改善を図っています。今後も利用者の声を聴きながら見直しを行い、利用しやすい事業となるよう要望します。

##### (2) 処理済の事項

宮バス・宮タク事業では、「利用者満足度調査」結果をもとに、見直しを行っています。

令和3年4月1日から宮タクの利便性向上に向けて実証実験を開始し、現在実験を継続中です。

##### 【令和3年4月1日からの実証実験】

- ①宮タク会員の同乗者利用の実証実験
- ②宮タク（北部エリア）から乗り換えなしで中心市街地まで行ける実証実験
- ③宮タク（内房エリア）から乗り換えなしで中心市街地まで行ける実証実験

##### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和3年10月4日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
26,964,000	4,255,200	4,025,200	230,000	14.9	94.6

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
289,363,000	88,664,799	200,698,201	30.6

4 市民活動災害補償制度の給付状況

(単位:件・円)

区 分	件 数	保険給付額(総額)	最高給付額	平均給付額
令和3年9月30日現在	1	18,000	18,000	18,000
令和2年9月30日現在	0	0	0	0

5 宮バスの利用状況(令和3年9月30日現在)

(単位:人・日)

区 分	利用人数	平均乗車人数 (1日当たり)	運行日数
中 央 循 環	12,874	70.3	183
東 南 循 環	2,895	23.0	126
北 循 環	5,593	44.4	126
芝 川 系 統	9,341	59.1	158
合 計	30,703		

6 宮タクの利用状況(令和3年9月30日現在)

(単位:人)

区 分	利用人数	平均乗車人数 (1日当たり)
山 宮 エ リ ア	1,213	1.61
山 本 エ リ ア	1,175	1.67
安 居 山 エ リ ア	330	1.34
上 野 エ リ ア	462	1.29
南 部 エ リ ア	50	1.14
富 士 根 エ リ ア	1,159	1.98
北 山 エ リ ア	582	1.16
北 部 エ リ ア	528	1.66
内 房 エ リ ア	172	1.03
合 計	5,671	

## 7 要望事項等

振り込め詐欺等の犯罪は、社会情勢の変化により新たな手口が発生することから、情報を迅速に把握し、防犯意識の高揚を図るよう市民に対し積極的な啓発活動を要望します。

## ◎ 市 民 交 流 課

### 1 職員の配置状況(令和3年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
室 長	1		1	女性が輝くまちづくり 推進室室長
市 民 交 流 係	3	5	8	市民課市民係 主幹を兼務1 主査を兼務1 主事を兼務1  収納課税制係 主幹を兼務1 主査を兼務1 主事を兼務1
女性が輝くまちづくり 推 進 室	3	3	6	
計	8	8	16	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

富丘交流センターについては、地域住民の交流拠点として期待されていることから、十分に機能が発揮されるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

センターでは、多くの方に参加いただける講座や子育て世代支援事業を実施しております。また、図書スペース、フリースペースには絵本やおもちゃを配したのでお子様連れの利用も多く見かけました。なお、富丘交流センターまつりは地域交流のための主要な事業であり、自治会や利用者等関係団体で構成される実行委員会を立ち上げて準備してきましたが、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、今年度は中止となりました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和3年10月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
4,862,000	1,035,589	1,004,473	31,116	20.7	97.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
470,958,000	63,389,076	407,568,924	13.5

### 4 要望事項等

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、海外への中学生派遣研修事業は中止となりましたが、オンラインで現地の人と交流を行った経験は、派遣研修ができない中で良い経験となりました。今後も様々な方法で交流を行い、中学生の興味を引き出すような事業となるよう要望します。

## ◎ 市民課

### 1 職員の配置状況(令和3年10月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
庶務係	3	1	4	育児休業中1
市民係	6	13	19	育児休業中1(会計年度任用職員)
記録係	9	3	12	
計	19	17	36	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

ご遺族手続き支援業務や個人番号カード交付のための休日開庁等、市民の利便性を図る取り組みを行っています。休日勤務は市民課職員が交代で行っていますが、今後も休日勤務が恒久化するようであれば、人事当局と協議し、職員の負担軽減を図る体制づくりを検討するよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

個人番号カード交付のための休日勤務のうち、記録係で担当していた正面玄関での受付案内業務については、7月からシルバー人材センターへ委託しています。

また、市民係及び庶務係で対応している交付業務については、交付件数が減少してきた8月から午前中みの開庁とし、さらにWワーク制度を活用し市民係経験者に交付業務の補助をお願いすることで、職員の出勤回数が少なくなるよう調整しています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和3年10月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
164,620,000	49,291,050	49,088,470	202,580	29.8	99.6

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
271,958,000	113,696,157	158,261,843	41.8

## 4 本籍数等の状況

(単位:戸・人)

区 分	本 籍 数	住 民 基 本 台 帳			
		世帯数	人 口		
			男	女	計
令和3年9月30日現在	58,262	57,575	64,727	65,644	130,371
令和2年9月30日現在	58,398	57,280	65,229	66,248	131,477

(注)1 5出張所分を含む。

(注)2 外国人住民分を含む。

## 5 戸籍・住民票の写し等の取扱状況

(単位:件)

区 分	戸 籍 関 係	住 民 票 関 係	印 鑑 関 係	行 政 証 明	臨 時 運 行 許 可	火 葬 場 霊 柩 車	計
令和3年9月30日現在	19,355	30,792	19,174	876	565	926	71,688
令和2年9月30日現在	20,452	31,332	21,773	857	560	943	75,917

(注) 5出張所、5公民館、2交流センター分を含む。

## 6 要望事項等

個人番号カードの交付について交付円滑化計画に基づき、出張申請や申請時来庁方式による受付の実施を計画しています。個人番号カードの交付の推進を図るため、引き続き、市民に対し活用方法等の積極的な広報活動を要望します。

◎ 出張所

1 職員の配置状況(令和3年10月1日現在)

(1) 北山出張所

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
所 長	1		1	
出 張 所 職 員	1	1	2	
計	2	1	3	

(2) 上野出張所

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
所 長	1		1	
出 張 所 職 員	1	1	2	
計	2	1	3	

(3) 上井出出張所

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
所 長	1		1	
出 張 所 職 員	1	2	3	
計	2	2	4	

(4) 白糸出張所

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
所 長	1		1	
出 張 所 職 員	1	2	3	
計	2	2	4	

(5) 芝川出張所

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
所 長	1		1	
出 張 所 職 員	2	1	3	育児休業中1
計	3	1	4	

## 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

### (1) 要望内容

出張所には、地域の高齢の方が多く来庁されると思いますので、わかりやすい説明を心がけるとともに、本庁の所管課と連絡を取り合い、適正・的確に事務処理を行うよう要望します。

### (2) 処理済の事項

#### ○ 北山出張所

高齢者を含めた来所者に対し常に親切、丁寧な対応はもちろんのこと、可能な限り当出張所において事務手続きなどが済むように心がけています。

併せて、日々誤りのないよう職員間の情報共有や本庁担当部署との連携を密にして、適正・的確に事務処理を行うよう努めてまいります。

#### ○ 上野出張所

担当業務外の問い合わせを含め、高齢者を含む地域住民へは、関係各課と各種主管関係機関との連絡・連携を図りながら、説明・資料等の入手・提供をうけ、地域住民の期待に応えられるよう親切丁寧な対応に努めております。

#### ○ 上井出出張所

出張所に来られる高齢者を含めた多くの方は、全てを理解していないで来所されます。出張所の特色は、本庁舎と違い来所される方も多くはないことから、高齢者だけでなく来所された方に対して時間をかけて説明をして納得していただいて事務処理を行っております。

また、出張所の業務は住民票発行等の市民課業務、課税証明等の収納課業務など多岐にわたることから、それぞれに即したマニュアルを整備して対応しておりますが、特殊なケースも発生することから、その場合には所管課に連絡して指示を受けるなどして誤りのないように事務処理を行っております。また、特殊なケースが発生した場合には、事務に携わる職員で情報共有を行うなど、適正・的確な事務処理に今後も努めてまいります。

#### ○ 白糸出張所

地域住民の身近な行政窓口として、常に信頼される対応に心がけ、特に高齢者が来庁した際には、親切丁寧な対応と、わかりやすい説明を行っていきます。

また、本庁の所管課と連絡を密に取り、適正・的確な事務処理を行ってまいります。

#### ○ 芝川出張所

高齢者のみならず地域住民の方に対しては、市役所の総合窓口としてわかりやすい説明を心がけ、担当課との連絡を取り丁寧な対応に努めております。

### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和3年10月4日現在)

(1) 北山出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
1,328,000	1,254,773	1,254,773	0	94.5	100.0

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
13,820,000	5,020,954	8,799,046	36.3

② 北山財産区特別会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
19,000,000	26,581,666	26,581,666	0	139.9	100.0

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
19,000,000	1,610,515	17,389,485	8.5

(2) 上野出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
4,000	3,000	3,000	0	75.0	100.0

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
130,859,000	52,540,691	78,318,309	40.2

(3) 上井出出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
9,646,000	9,646,000	8,146,000	1,500,000	84.4	84.4

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
18,621,000	9,475,637	9,145,363	50.9

② 上井出区財産区特別会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
20,000,000	15,852,098	15,852,098	0	79.3	100.0

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
20,000,000	3,000,000	17,000,000	15.0

③ 猪之頭区財産区特別会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
25,000,000	20,315,214	20,315,214	0	81.3	100.0

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
25,000,000	4,594,050	20,405,950	18.4

④ 根原区財産区特別会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
10,000,000	9,962,570	9,670,022	292,548	96.7	97.1

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
10,000,000	487,520	9,512,480	4.9

(4) 白糸出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
9,000	6,500	0	6,500	0.0	0.0

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
142,363,000	18,911,440	123,451,560	13.3

## (5) 芝川出張所

## ① 一般会計

## (ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
350,000	131,344	109,544	21,800	31.3	83.4

## (イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
12,522,000	4,135,011	8,386,989	33.0

## 4 世帯数及び人口の状況(令和3年9月30日現在)

(単位:戸・人)

区 分	住 民 基 本 台 帳			
	世 帯 数	人 口		
		男	女	計
北山出張所	3,466	4,014	3,806	7,820
上野出張所	2,130	2,386	2,354	4,740
上井出出張所	1,602	1,729	1,674	3,403
白糸出張所	801	935	911	1,846
芝川出張所	3,329	3,932	4,127	8,059
計	11,328	12,996	12,872	25,868

## 5 公有財産(令和3年9月30日現在)

## (1) 北山財産区特別会計

## ① 土地(地積)

(単位:m<sup>2</sup>)

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
山 林	384,216.00	0	384,216.00
貸 付 地	53,981.00	0	53,981.00
計	438,197.00	0	438,197.00

## ② 山林（面積）

（単位：㎡）

土地の権利区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
所有	384,216.00	0	384,216.00
分収	0	0	0
その他の権原によるもの	0	0	0
計	384,216.00	0	384,216.00

## ③ 立木の推定蓄積量（立木の推定蓄積量は、森林簿による。）

（単位：㎡）

土地の権利区分	前年度末現在高
所有	12,257
分収	0
その他の権原によるもの	0
計	12,257

## ④ 物品

（単位：台）

区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
連絡用自動車	1	0	1

## ⑤ 基金（令和3年9月30日現在）

（単位：円）

区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高	
有価証券	債券	220,000,000	0	220,000,000
	債権	0	0	0
現金	預金	411,412,824	0	411,412,824
	債権	0	0	0
計	631,412,824	0	631,412,824	

⑥ 土地貸付収入の状況(令和3年9月30日現在) 11件

区分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
北山区3件	83,000	83,670	83,670	0	100.8	100.0
山宮区8件	117,000	117,563	117,563	0	100.5	100.0
合計	200,000	201,233	201,233	0	100.6	100.0

(2) 上井出区財産区特別会計

① 土地(地積)

(単位: m<sup>2</sup>)

区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
山林	85,934.00	0	85,934.00
原野	24,999.00	0	24,999.00
宅地	84,108.81	0	84,108.81
畑	2,043.00	0	2,043.00
墓地	2,669.19	0	2,669.19
その他	19,491.20	0	19,491.20
計	219,245.20	0	219,245.20

② 山林(面積)

(単位: m<sup>2</sup>)

土地の権利区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
所有	85,934.00	0	85,934.00
分収	0	0	0
その他の権原によるもの	0	0	0
計	85,934.00	0	85,934.00

③ 立木の推定蓄積量（立木の推定蓄積量は、森林簿による。）（単位：m<sup>3</sup>）

土地の権利区分	前年度末現在高
所有	0
区分	0
その他の権原によるもの	0
計	0

④ 基金（令和3年9月30日現在）（単位：円）

区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高	
有価証券	債券	349,980,273	0	349,980,273
	債権	0	0	0
現金	預金	73,263,727	0	73,263,727
	債権	0	0	0
計	423,244,000	0	423,244,000	

⑤ 土地貸付収入の状況（令和3年9月30日現在） 6件

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,279,000	295,270	295,270	0	13.0	100.0

(3) 猪之頭区財産区特別会計

① 土地（地積）（単位：m<sup>2</sup>）

区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
山林	8,498,782.00	0	8,498,782.00
原野	2,265.00	0	2,265.00
宅地	5,507.55	0	5,507.55
田畑	2,406.00	0	2,406.00
その他	683.00	0	683.00
計	8,509,643.55	0	8,509,643.55

## ② 山林（面積）

（単位：㎡）

土地の権利区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
所有	8,498,782.00	0	8,498,782.00
分収	0	0	0
その他の権原によるもの	0	0	0
計	8,498,782.00	0	8,498,782.00

## ③ 立木の推定蓄積量（立木の推定蓄積量は、森林簿による。）

（単位：㎡）

土地の権利区分	前年度末現在高
所有	241,518
分収	0
その他の権原によるもの	0
計	241,518

## ④ 出資による権利

（単位：円）

区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
富士森林組合出資金	200,000	0	200,000

## ⑤ 基金（令和3年9月30日現在）

（単位：円）

区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高	
有価証券	債券	69,703,094	0	69,703,094
	債権	0	0	0
現金	預金	30,792,906	0	30,792,906
	債権	0	0	0
計	100,496,000	0	100,496,000	

## ⑥ 土地貸付収入の状況（令和3年9月30日現在） 15件

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
7,614,000	2,920,294	2,920,294	0	38.4	100.0

## (4) 根原区財産区特別会計

## ① 土地（地積）

(単位:㎡)

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
山 林	3,500,225.00	0	3,500,225.00
原 野	2,812,485.00	0	2,812,485.00
宅 地	915.01	0	915.01
畑	97,856.00	0	97,856.00
墓 地	4,017.00	0	4,017.00
計	6,415,498.01	0	6,415,498.01

## ② 山林（面積）

(単位:㎡)

土地の権利区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
所 有	3,500,225.00	0	3,500,225.00
分 収	0	0	0
その他の権原に よるもの	0	0	0
計	3,500,225.00	0	3,500,225.00

## ③ 立木の推定蓄積量（立木の推定蓄積量は、森林簿による。）

(単位:㎡)

土地の権利区分	前年度末現在高
所 有	78,437
分 収	0
その他の権原に よるもの	0
計	78,437

## ④ 出資による権利

(単位:円)

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
富士森林組合 出 資 金	100,000	0	100,000

⑤ 土地貸付収入の状況(令和3年9月30日現在) 6件

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,718,000	2,302,349	2,009,801	292,548	73.9	87.3

6 要望事項等

地域の高齢者が市役所からの通知や困りごと等、出張所の業務以外でも来庁されることがありますが、市役所本庁舎まで行くことが困難な場合も考えられるため、本庁の担当部署と連携し、分かりやすい説明と丁寧な対応を心がけるよう要望します。

## ◎ 保険年金課

### 1 職員の配置状況(令和3年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
保 険 給 付 係	8	5	13	
資 格 賦 課 係	4	2	6	
後期高齢者保険係	6	3	9	静岡県後期高齢者医療広域連合 へ派遣1 育児休業中1
国 民 年 金 係	2	3	5	
計	21	13	34	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

新型コロナウイルス感染症拡大により、健診等にも影響がありましたが、受診日を追加するなど受診率の向上に努めました。引き続き、通知等の広報活動を続け、病気等の早期発見、早期予防に向け特定健診・特定保健指導事業を進めるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

特定健診の受診率を高めるため、未受診者に勧奨通知を送付しています。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による受診控えがあったため、重症化を招かないよう受診勧奨を強化し、新たに糖尿病治療中断者に通知を行いました。この他に、市民ホールに設置されているモニターで受診を促す映像を放映するなど、関心を持っていただくための広報活動をしています。

また、健康増進課や医師会と協議・連携し、特定検診とがん検診が同時に受けられるセット健診や、診療に基づく保健指導を進めております。

#### (3) 未処理事項の処理予定

引き続き、特定検診の受診率を高めるため、感染症対策を行いながら、広報活動と共に事業を実施してまいります。

3 予算の執行状況 (令和3年10月4日現在)

(1) 一般会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
746,027,000	10,603,000	10,603,000	0	1.4	100.0

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
2,448,859,000	1,115,344,490	1,333,514,510	45.5

(2) 国民健康保険事業特別会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
10,409,408,000	4,520,140,930	4,429,963,343	90,177,587	42.6	98.0

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
13,163,556,000	5,294,199,297	7,869,356,703	40.2

(3) 後期高齢者医療事業特別会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,948,096,000	2,358,067,978	1,557,537,201	800,530,777	52.8	66.1

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
2,948,096,000	1,380,487,874	1,567,608,126	46.8

4 国民健康保険被保険者の状況 (令和3年9月30日現在)

(単位:世帯・人・%)

区 分	市 総 数 A	被 保 険 者 数 B	加 入 率 B/A
世 帯 数	57,575	18,304	31.79
人 員	130,371	28,624	21.96

5 静岡県後期高齢者医療広域連合の被保険者数(令和3年8月31日現在) (単位:人)

富士宮市	19,390	広域連合	562,587
------	--------	------	---------

6 要望事項等

特定検診の通知は、新たに糖尿病治療中断者の国民健康保険加入者を加え、重症化しないよう受診勧奨を行うなど受診率の向上を図りました。既往歴のある人への受診勧奨は、重症化予防のための効果が期待できることから、引き続き受診勧奨を行い、受診率向上を図るよう要望します。

## ◇ 産 業 振 興 部

### ◎農業政策課

1 職員の配置状況(令和3年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	農業委員会事務局長を併任
室 長	1		1	
農 業 係	6	2	8	産後休暇中1
畜 産 ・ 養 鱒 係	4	1	5	
林 業 係	5	2	7	
食のまち推進室	1	1	2	
計	19	6	25	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

農業振興対策事業に対し様々な補助制度が利用されていますが、補助金の交付について、事業内容が制度の目的に合っているかの確にチェックを行うよう要望します。

(2) 処理済の事項

毎年度、補助金概要を作成（更新）し職員の手持ち資料としており、補助金の交付の際には、事業概要や補助対象等を確認して対応しております。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和3年12月3日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
447,167,000	40,487,190	39,637,090	850,100	8.9	97.9

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
783,992,000	222,740,114	561,251,886	28.4

4 農業経営基盤強化促進事業(認定農業者制度) (令和3年11月30日現在)

(単位:人)

認定農業者数	営農種別ごとの内訳
148	酪農48、肉用牛10、養豚9、採卵鶏5、肉用鶏1、茶18、露地野菜22、施設野菜17、果樹類1、花き・花木14、稲作1、雑穀・いも類・豆類1、その他1(コケ類)

5 利用権設定等促進事業(農地利用集積) (令和3年11月30日現在)

(単位:件・㎡)

区 分	件 数	面 積
利 用 権 設 定	110	745,501.04
所 有 権 移 転	4	58,407.00
計	114	803,908.04

6 要望事項等

富士宮市における森林整備は、作成した森林整備方針を基に課題解決に向け事業を実施しますが、放置林の対応など課題解決には関係団体の協力が必要となることから、今後も連携して事業に取り組んでいくよう要望します。

## ◎ 観光課

### 1 職員の配置状況(令和3年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
観 光 企 画 係	3	2	5	
観 光 施 設 係	4		4	
計	8	2	10	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止や規模の縮小など予定どおり開催できない事業が多数ありました。今後はコロナ終息後を見据え、観光客を早期に呼び込むための事業を関係部署、関係機関と連携しながら計画、検討するよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

本年度におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止、規模縮小にての開催となっております。来年度以降につきましては、感染の動向にもよりますが、withコロナafterコロナを考え、関係部署、関係機関等と連携しながら、国、県が推奨する感染症対策を行いイベントの実施を計画、検討していきたいと思っております。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和3年12月3日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
121,190,000	35,348,513	26,944,524	8,403,989	22.2	76.2

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
473,002,000	243,887,148	229,114,852	51.6

4 観光諸行事の状況(令和3年12月3日現在)

行 事 名		実 施 月 日	参 加 人 員	備 考
やぶさめ祭		5月4日～6日 (3日間)	神事のみ	浅間大社
富士山 まつり	富士山お山開き	7月10日	関係者のみ	浅間大社、 村山浅間神社
	富士山御神火まつり	8月7日	神事のみ	浅間大社、 市街地
	宮おどり	8月8日	中止	浅間大社、 市街地
	富士の巻狩り			
	狩宿さくらまつり	4月10日～11日 (2日間)	中止	狩宿の下馬桜周辺
	陣馬の滝まつり	8月22日	中止	陣馬の滝周辺
	芝川日和			
	内房たけのこ・桜まつり	4月4日	中止	内房稲瀬川沿い
	「梅の里」稲子まつり	6月20日	中止	新稲子川温泉 ユウ・トリオ
柚野の里縄文まつり	11月27日	入込数 800 人	富士山縄文の里 大鹿館	
富士山衛生センター開設 (八合目診療所)	7月23日～8月29日 (38日間)	医師9名、補助者9名 診療件数 56 件	富士山	
富士宮まつり	11月3日～5日 (3日間)	中止	浅間大社、 市街地	
信長公黄葉まつり	11月10日	神事のみ	富士山西山本門寺	
富士と琵琶湖 を結ぶ会	近江八幡市来宮	7月27日	来訪者 6 人	浅間大社
	近江八幡市訪問	11月12日	参加者7人(観光課3人、観 光協会4人)	近江八幡市

5 要望事項等

新稲子川温泉ユウ・トリオの営業が再開しましたが、営業継続のための計画的なメンテナンスの実施を行うとともに、大規模な施設改修を実施していることから、施設の有効活用のため集客を図るよう積極的な広報を指定管理者と共に行うよう要望します。

## ◎ 商工振興課

1 職員の配置状況(令和3年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	勤労者福祉共済会事務局 長兼任
工業振興・労政係	3		3	
知財戦略・商業係	3	2	5	
計	7	2	9	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

コロナ禍における地域経済の活性化や事業者保護のために急遽事業を実施し、その対応に尽力しています。実施した事業の成果を分析し、今後に活かしていくよう要望します。

(2) 処理済の事項

今後も、コロナ禍等の不測の事態に対応するために、これまでに実施してきた事業を整理・分析したうえで、今後に活かしてまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

国や県等の動向を注視し、迅速に対応できるよう備えていきたいと考えています。

3 予算の執行状況(令和3年12月3日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
302,729,000	2,223,943	1,714,833	509,110	0.6	77.1

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,037,828,000	784,386,684	253,441,316	75.6

4 中小企業に対する各種融資制度とその状況(令和3年11月30日現在)

(単位:円・件・%)

区 分	小 口 資 金 融 資 制 度	短期経営改善資金 融 資 制 度	中 小 企 業 育 成 融 資 制 度
資 金 使 途	運 転 ・ 設 備 資 金	運 転 資 金	運 転 ・ 設 備 資 金
融 資 額	18,250,000	86,900,000	7,233,000,000
融 資 件 数	6	15	239
融資債務残高(金額)	80,107,000	47,000,000	6,225,000,000
融資債務残高(件数)	47	8	172
利子補給金 B	196,914	89,596	—
市預託金 B	—	—	10,000,000
予 算 額 A	872,000		10,000,000
予算額に対する 実績の比率 B/A	32.86		100.0

5 要望事項等

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者を支援するため、経済変動対策貸付資金利子補給補助金事業やプレミアム付商品券事業を実施していますが、引き続き、市内の経済状況及び事業者の動向を注視し、関係部署と連携し今後の支援の検討を行うよう要望します。

## ◇ 環 境 部

### ◎ 環境企画課

#### 1 職員の配置状況(令和3年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
室 長	1		1	
環 境 衛 生 係	3	2	5	
環 境 エ ネ ル ギ ー 室	4	3	7	河川課主任主査が兼務1
計	10	5	15	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

令和2年度から2か年をかけて、新たな一般廃棄物処理計画の策定に着手していますが、環境政策における重要な計画であることから、関係部署と十分に連携するとともに、市民の理解と協力を得るために丁寧な説明を行うよう要望します。

##### (2) 処理済の事項

計画策定にあたり、関係部署と連携を図るため、環境部長を庁内部会長、水道部長を副会長とする庁内部会組織を発足し、また、庁内部会内に、生活環境課を中心にごみ処理に関する検討を行う「ごみ処理小部会」、下水道課を中心に生活排水処理に関する検討を行う「生活排水処理小部会」を設置し、実務的な調査、計画案の検討を行いました。

市民の理解と協力を得るためには、市民代表、事業者代表を含む一般廃棄物処理基本計画策定委員会を設置し、計画案について協議いただきました。

また市民、事業者がごみ処理や生活排水処理に際し日頃どのように考え行動しているか把握するため、アンケート調査を実施しました。

さらに、令和3年11月には市議会全員協議会において計画案の説明を行うとともに、パブリックコメントを実施しました。

##### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和3年12月3日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
34,883,000	20,346,353	17,921,763	2,424,590	51.4	88.1

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
209,138,000	108,314,211	100,823,789	51.8

4 富士宮聖苑の利用状況(令和3年11月30日現在)

(単位:日・件)

区 分	稼動日数	火 葬		火 葬 ( 小 動 物 等 )	
		件 数	1日平均	件 数	1日平均
市 内	202	901	4.46	168	0.83
市 外		17	0.08	1	0.00
計		918	4.54	169	0.84

5 要望事項等

ゼロカーボンシティとして目標設定を行っていますが、目標を達成するには市民の理解と協力が必要不可欠です。市民に向け周知を的確に行い、市民が取り組みやすい事業の実施を要望します。また、富士宮市創エネ・畜エネ機器等設置費補助金制度は、その目標を達成するにも有効なため引き続き補助事業の継続を要望します。

## ◎ 生活環境課

### 1 職員の配置状況(令和3年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
環 境 保 全 係	4		4	
廃 棄 物 対 策 係	5		5	
計	10	0	10	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

新型コロナウイルス感染症の影響により、ごみダイエツトプロジェクト事業が計画通りに実施できない状況にあります。雑がみ交換会など新たな取り組みに努めています。清掃センターの焼却炉の延命のためにも可燃ごみが削減されるよう継続して啓発活動に努め、市民の理解を得るよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

##### <ごみダイエツトプロジェクト事業>

市民1人が、ひと月当たりりんご1個分のごみの削減を目標に、3ヵ月毎に重点課題を設けて、年間を通して様々な取組を行う。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、エコクッキング講座などが実施できない状況ですが、下記のとおり、工夫して啓発に努めております。

##### (重点課題)

- 4月～6月 古紙・雑がみの分別
- 7月～9月 生ごみの水キリ、食材の使いキリ
- 10月～12月 ふじのみや 食べキリ運動
- 1月～3月 衣類の分別

##### (今年度実施の取組)

- ・出前講座の実施(4回)
- ・清掃センターへごみの搬入に訪れた市民、事業者に対して、ごみの減量化に関する協力依頼のチラシを配布
- ・広報ふじのみや、地方紙、市ホームページ、ごみ収集日程表、ラジオエフ等による市民への啓発

##### (成果)

4月から10月までの前年比では、清掃センターに搬入された可燃ごみの量が家庭系で538トンの減、事業系で52トンの減となり合計で590トンの減となりました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

##### (今後の取組)

今後についても、新型コロナウイルス感染症の状況を勘案しながら事業内容を工夫して実施について検討していきます。

- ・出前講座の実施
- ・広報ふじのみやへの記事掲載
- ・地方紙、市ホームページでの周知
- ・雑がみ交換会の実施
- ・Youtubeを活用した啓発の実施

### 3 予算の執行状況(令和3年12月3日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
1,790,000	1,390,540	1,357,540	33,000	75.8	97.6

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
566,195,000	335,766,556	230,428,444	59.3

### 4 公害苦情の状況(令和3年11月30日現在)

(単位:件)

大気関係	水質関係	騒音関係	悪臭関係	振動関係	その他	計
25	5	19	18	2	1	70

### 5 ごみ収集の状況

(単位:日・t)

区分	令和3年11月30日現在			令和2年11月30日現在			比較増減		
	収集日数	収集量	1日平均収集量	収集日数	収集量	1日平均収集量	収集日数	収集量	1日平均収集量
可燃物	203	16,272.05	80.16	203	16,746.74	82.50	0	△ 474.69	△ 2.34
不燃物	69	787.87	11.42	69	894.05	12.96	0	△ 106.18	△ 1.54
乾電池	69	22.73	0.33	69	22.28	0.32	0	0.45	0.01
瓶	生ビン	4.59	0.11	40	5.06	0.13	0	△ 0.47	△ 0.02
	カレット	452.38	11.31	40	494.63	12.37		△ 42.25	△ 1.06
缶	スチール	118.19	2.95	40	124.91	3.12	0	△ 6.72	△ 0.17
	アルミ	71.17	1.78		75.95	1.90		△ 4.78	△ 0.12
ペットボトル	80	204.17	2.55	40	201.97	5.05	40	2.20	△ 2.50
トレイ	39	9.40	0.24	36	9.04	0.25	3	0.36	△ 0.01
紙パック	40	7.72	0.19	40	8.22	0.21	0	△ 0.50	△ 0.02
粗大ごみ	10	130.00	13.00	10	150.67	15.07	0	△ 20.67	△ 2.07
蛍光灯等水銀使用製品廃棄物	10	3.94	0.39	9	4.62	0.51	1	△ 0.68	△ 0.12

### 6 要望事項等

ごみダイエットプロジェクト事業は、市民への啓発活動を積極的に行うことで、清掃センターへ搬入される可燃ごみの量の削減という成果が表れています。引き続き市民への啓発活動を実施するよう要望します。また、ごみの収集について、清掃センターに問い合わせの多いごみ収集の事例を挙げるなど清掃センターと連携し、ごみの分別に市民の理解と協力が得られるよう広く広報を行うよう要望します。

## ◎ 花と緑と水の課

### 1 職員の配置状況(令和3年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
公 園 緑 地 係	4	3	7	育児休業中1
自 然 保 全 係	3	4	7	会計年度任用職員4 富士山環境交流プラザ
計	8	7	15	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

山本高原地区の都市公園の新設について、設計に当たっては、市の方針と地域の要望のすり合わせをしっかりと行い、地域の理解と協力を得ながら事業を実施するよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

整備計画立案に際し、ワークショップによる住民参加型の公園づくりのため要望区に依頼し多くの参加者を募集しました。

結果、22名の参加者により3回のワークショップを開催し公園内のゾーニング（遊具の配置等）を行い公園計画の素案を作成し、現在、素案を基に詳細設計を実施しております。

#### (3) 未処理事項の処理予定

本計画地周辺については、大雨の時などに周辺道路に冠水が発生するため、雨水排水処理について要望書が提出されています。公園詳細設計において排水処理手法等について関係課と協議を行い、公園整備と併せ課題の処理を検討してきます。

### 3 予算の執行状況(令和3年12月3日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
35,644,000	2,746,117	2,744,797	1,320	7.7	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
417,171,000	189,254,995	227,916,005	45.4

## 4 公園等の状況(令和3年11月30日現在)

(単位:箇所・㎡)

区 分	箇所数	面積	平均面積
都市公園	33	857,823	25,995
小公園	118	37,242	316
広場	17	219,068	12,886
緑地	26	126,762	4,875
計	194	1,240,895	6,396

(注) 都市公園は、都市公園法による公園とする。

## 5 樹木等の保存指定の状況(令和3年11月30日現在)

(単位:件)

区 分	指定件数
樹木(本)	44
樹林(か所)	18
湧水池(か所)	16
計	78

## 6 要望事項等

山本高原地区新設都市公園の計画の素案作りに地域住民が参加することで、地域の要望と市の意見のすり合わせを行っています。計画策定中に発生した公園整備における課題については、関連部署と連携し、引き続き地域住民の理解と協力を得ながら対応に努めるよう要望します。

## ◎ 清掃センター

### 1 職員の配置状況(令和3年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
所 長	1		1	
総 務 係	2		2	
施 設 係	10		10	
計	13	0	13	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

新たな一般廃棄物処理基本計画策定において、焼却灰等の最終処分のある方を検討していますが、市民の理解と協力が得られるよう最終処分場の現状や市が抱える問題について広く周知するよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

焼却施設・最終処分場の市長視察を行い、課題やその対応が新聞報道されました。

地元の区長・町内会長、富士宮市区長会長・副会長に最終処分場・焼却施設を視察していただきました。

次期一般廃棄物処理基本計画案を示し、パブリックコメントを実施しました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

次期一般廃棄物処理基本計画の策定後、市民向け概要版やホームページ、施設見学等で、廃棄物の分別、資源循環への理解や協力が得られるよう、広く周知を実施してまいります。

### 3 予算の執行状況(令和3年12月3日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
144,350,000	117,503,689	99,679,469	17,824,220	69.1	84.8

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
983,618,000	564,417,385	419,200,615	57.4

#### 4 要望事項等

新たな一般廃棄物処理基本計画は、焼却灰等の最終処分を全量委託とし、最終処分場は現状を維持するとのことですが、施設の延命化など課題は継続されるため、市民に対しごみの分別への理解と協力が得られるよう関係部署と連携し広く広報を行うよう要望します。

## ◇ 保 健 福 祉 部

### ◎ 福祉企画課

#### 1 職員の配置状況(令和3年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	子ども統括監を兼務
福祉企画係	4	6	10	
地域包括ケア 推 進 係	6	8	14	育児休業中1
計	12	14	26	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

PCR検査場の運営、無症状者への検査体制の構築など、新型コロナウイルス感染症対策の対応に尽力しています。引き続き、市民の不安解消のための業務を推進するよう要望します。

##### (2) 処理済の事項

無症状者への検査体制において、特に市民への感染の増大が見込まれた、本市が新型インフルエンザ等特別措置法の新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置及び緊急事態宣言の適用地域となっていた期間中（R3.8.8～9.30）に申し込みのあった検査について、一部の対象者を除き、補助額を検査費用の全額に引き上げた。

【実績】＜令和3年度（10月末現在）＞

受付件数2,006件

うち、まん延防止等重点措置及び緊急事態宣言措置中の全額補助1,662件

また、今後の感染拡大時に備え、以下の対応を行った。

- ・ 自宅療養者や濃厚接触者となった市民への支援を県（保健所）との連携により行う体制として、看護師を配置した相談窓口の開設と食料品等の配布事業を創設
- ・ 医療従事者が濃厚接触者となった際、継続して医療従事するために必要となる検査に対する費用補助の制度を創設
- ・ 感染症対策に関する主体の長である富士保健所長、富士宮市医師会長、富士宮市立病院長、富士宮市長で9月28日に会合を開き、情報共有や意見交換を実施

##### (3) 未処理事項の処理予定

なし

#### 3 予算の執行状況(令和3年11月5日現在)

##### (1) 一般会計

##### ① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
322,377,000	31,730,471	30,353,657	1,376,814	9.4	95.7

## ② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
696,436,000	439,863,582	256,572,418	63.2

## (2) 介護保険事業特別会計

## ① 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
154,880,000	61,594,082	93,285,918	39.8

## 4 総合福祉会館利用状況

(単位:人・日)

区 分	利用人員 A	開館日数 B	1日当たり利用人員 A/B
令和3年10月31日現在	35,258	175	201
令和2年10月31日現在	18,942	132	144
比較増減	16,316	43	57

## 5 救急医療センターの受診者状況(令和3年10月31日現在)

(単位:日・人)

診療科目		診療日数	受診者数	1日平均受診者数
医 科	内 科	214	2,431	11.4
	小 児 科		1,059	4.9
	外 科		2,792	13.0
	小 計		6,282	29.4
歯 科		40	81	2.0
合 計			6,363	

## 6 要望事項等

新型コロナウイルス感染症対策の予防体制が構築できていたため、緊急事態宣言下においても無症状者への検査など迅速な対応ができました。今後も市民が安心して生活できるよう市立病院、医師会等関連機関と情報共有、連携を図り、地域医療の充実を図れるよう要望します。

## ◎ 高齢介護支援課

### 1 職員の配置状況(令和3年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
指 導 総 務 係	8	2	10	育児休業中1
介 護 保 険 係	6	4	10	
認 定 審 査 係	6	10	16	病気休暇中1
計	21	16	37	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

第9次富士宮市高齢者保健福祉計画・第8期富士宮市介護保険事業計画がスタートしますが、前期計画の課題を認識するとともに、計画に定めた目標の達成に向けて、関係機関と連携した取り組みを要望します。

#### (2) 処理済の事項

要介護状態になることをできる限り予防し、健康寿命の延伸が課題であると考え、介護予防・重度化防止を中点的に取り組んでいく必要があると認識しています。

介護予防・重度化防止の取り組みとして、介護予防・生活支援総合事業等を充実させるための厚生労働省職員派遣による市・町への支援事業を福祉企画課・健康増進課と共に受けています。その中で、サービスC(保健・医療の専門職による短期集中リハビリ)の利用促進について重点的に実施し介護予防・重度化防止に繋げることを目標としています。現在、福祉企画課と連携し、あらためて医療機関等に直接訪問しサービスCへの理解のため周知啓発を行っております。また、現在厚生労働省職員派遣による支援での提案を受け、サービスCの内容をより分かりやすくすることが利用促進に繋がると考え、実際の利用者のサービス利用状況や感想などをまとめた動画を作成し、今後の周知・啓発への活用を予定しています。

また、介護サービス提供体制の確保のため、介護保険事業計画に基づき計画的に施設整備を進めております。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和3年11月5日現在)

(1) 一般会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
194,653,000	91,999,060	61,555,110	30,443,950	31.6	66.9

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
2,039,133,000	421,161,037	1,617,971,963	20.7

(2) 介護保険事業特別会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
12,178,364,000	11,065,982,840	5,786,956,070	5,279,026,770	47.5	52.3

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
12,015,111,000	5,656,919,605	6,358,191,395	47.1

4 要介護認定状況(令和3年10月31日現在)

(単位:件)

申請件数	認定審査件数
2,559	2,334

5 要支援・要介護認定審査の状況(令和3年10月31日現在)

介護度別判定	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	再調査	計
件数	10件	209件	275件	630件	402件	311件	271件	226件	0件	2,334件
(前年同期)	5件	196件	262件	547件	335件	246件	262件	159件	0件	2,012件
構成比	0.4%	9.0%	11.8%	27.0%	17.2%	13.3%	11.6%	9.7%	0.0%	100.0%
(前年同期)	0.2%	9.7%	13.1%	27.2%	16.7%	12.2%	13.0%	7.9%	0.0%	100.0%

6 要望事項等

高齢化社会を迎え、介護給付費抑制のためにも介護予防、重度化防止への取り組みが重要となります。介護予防サービスへの理解が進み、利用促進が図れるよう、引き続き、周知、啓発を行うよう要望します。

## ◎障がい療育支援課

1 職員の配置状況(令和3年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
障 がい 支 援 係	8	6	14	
療 育 支 援 係	5	5	10	育児休業中1
計	14	11	25	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

障がいを持つ方が地域で安心して生活できる地域生活支援拠点整備のため、関係機関と連携しながら体制を構築するとともに、制度について積極的な広報を行い、市民の理解を得るよう要望します。

(2) 処理済の事項

拠点整備事業の広報につきましては、課で発行している「障がい者福祉のてびき」に掲載しています。また、民生委員や手をつなぐ育成会の研修会での周知活動を実施しました。

関係機関との連携体制構築につきましては、令和3年10月末時点で短期入所8施設、通所事業所2施設、居宅介護1施設の協力体制を構築できております。

(3) 未処理事項の処理予定

区長や民生委員等に拠点整備事業の周知を行い、地域でサービス等につながっていない方の掘り起こしを行ってまいります。

3 予算の執行状況(令和3年11月5日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,338,044,000	738,791,380	684,392,506	54,398,874	29.3	92.6

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
3,443,601,000	2,120,714,724	1,322,886,276	61.6

4 要望事項等

地域生活支援拠点整備を進め、関係機関との協力体制が構築できました。日頃からサービス利用に慣れておくことで、緊急時に安心してサービス利用出来ることから、引き続き、関係機関と連携し、整備した協力体制が有効に利用されるよう要望します。

5 あすなろ園

(1) 職員の配置状況(令和3年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
園 長	1		1	
保 育 士	7	8	15	育児休業中2
看 護 師		1	1	
調 理 師	1	1	2	
計	9	10	19	

(2) 入園児の状況(令和3年11月1日現在)

(単位:人)

年 齢	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	計
人 数	0	0	10	14	6	0	30

(3) 要望事項等

園児の状況は様々ですが、一人ひとりの個別支援計画を作り、個々に対し細やかな配慮がなされています。社会情勢の変化により保護者のニーズも多岐に渡ると思いますが、引き続き、保護者、職員間での情報共有をしっかりと行い、一人ひとりに合った支援が行われるよう要望します。

## ◎福祉総合相談課

### 1 職員の配置状況(令和3年11月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	病気休暇中1
福祉相談支援係	4	3	7	
保護係	9	1	10	
計	14	4	18	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

生活困窮者が自立して生活できるよう各種取り組みを実施しています。新型コロナウイルス感染症の状況によっては、支援対象者が増加することも予想されることから、引き続き生活保護に至る前段階で支援ができるよう相談体制の強化を要望します。

#### (2) 処理済の事項

就労による生活再建を目指すため、引き続き、富士宮市社会福祉協議会や関係機関と連携し、相談者が困っていることをお聞きし、どうしたら解決できるか、解決のためにどういった支援が必要か、一緒に考え、具体的なプランを策定して支援していきます。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和3年11月5日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
1,072,642,000	837,916,203	681,316,095	156,600,108	63.5	81.3

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,607,123,000	937,241,475	669,881,525	58.3

### 4 長生園入園者の状況

(令和3年10月31日現在)

男	女	合計	平均年齢		最高齢者		最年少者	
			男	77歳8月	男	89歳	男	67歳
27人	23	50人	女	83歳6月	女	96歳	女	70歳

## 5 生活保護の実施状況

(単位:世帯・人・円)

区 分	延世帯数	延人員	支給総額	1世帯月平均 支給額	1人月平均 支給額
令和3年10月31日現在	3,476	4,246	617,341,296	177,601	145,393
令和2年10月31日現在	3,718	4,546	606,409,143	163,100	133,394
比 較 増 減	-242	-300	10,932,153	14,501	11,999

## 6 要望事項等

生活困窮者、DV被害等の相談支援は、様々なケースがあり、その対応も様々になると考えられることから、関係機関、関連部署との連携を強化し、諸問題の解決に取り組まれるよう要望します。

## ◎ 子ども未来課

### 1 職員の配置状況(令和3年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
子 育 て 支 援 係	8	5	13	
保 育 係	8	5	13	育児休業中1
家 庭 児 童 相 談 係	2	3	5	
計	19	13	32	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

- ① 子ども子育て支援のための補助金等については、子供たちが安心して生活を送るための制度であることを念頭に、目的にあった執行が行われているか確認を行うよう要望します。
- ② 子供たちに様々な経験ができるよう保育を行っています。経験は、子供の成長に不可欠なことから、今後も保護者と連携しながら保育を行ってください。また、安全・安心な保育を行うため保育園で発生した事故等については、園内だけでなく子ども未来課や他の園とも確実に情報共有を行うよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

- ① 補助金の交付先の団体等に対して、その実施状況について、事業の終了後に実績報告書の提出を求めています。その際、交付要綱に沿った目的で事業の執行が適切に行われているかを確認しております。  
今後も適切な事務の執行の管理に努めて参ります。
- ② 保育園では、入園式や卒園式、運動会、発表会、保育参観等で保護者の出席や参加をお願いする行事やイベントが多数あります。中でも、保育参観は、保護者が参加しやすくなるように何日かに分けて実施するなど、保護者と連携を取りやすくなるような環境づくりに努めています。  
また、保育園で発生した事故等については、発生後直ぐに全園で情報共有を行います。特に重大な案件については、ヒヤリハットの事例として園長会等において事故報告や処理の方法、今後の対応等を話し合っています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和3年11月5日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
4,653,774,000	2,016,242,012	1,491,711,190	524,530,822	32.1	74.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
8,152,609,000	4,257,571,635	3,895,037,365	52.2

4 ファミリー・サポート・センター事業登録会員数(令和3年10月31日現在)

(単位:人)

会員区分	委託会員	受託会員	委託・受託会員	計
	403	176	23	602

5 要保護児童の施設収容状況

(単位:人)

区分	児童養護 施設	児童自立 支援施設	乳児院	里親委託	児童心理 治療施設	知的障害児 施設	計
令和3年11月1日現在	10	0	5	4	2	8	29
令和2年11月1日現在	10	0	6	6	3	9	34
比較増減	0	0	△ 1	△ 2	△ 1	△ 1	△ 5

6 家庭児童相談の状況

(単位:件)

区分	性格 生活 習慣等	知能 言語	学校 生活等	非行	家族 関係	心身 障害	環境 福祉	その他	計
令和3年11月1日現在	343	36	1,287	18	1,826	270	564	368	4,712
令和2年11月1日現在	121	23	1,378	70	1,493	258	960	305	4,608
比較増減	222	13	△ 91	△ 52	333	12	△ 396	63	104

7 要望事項等

令和4年度は、新たな児童館が開館し子育て包括支援センター等、子育てに関する機能が移転されることから、関係機関、関係部署と情報共有及び連携を強化し、相談業務等の充実を図り、保護者が気軽に育児の相談ができるよう、また、子供たちが安心して遊べる施設となるよう準備を進めることを要望します。

8 保育園

(1) 定員、実人数及び職員の配置状況(令和3年11月1日現在)

(単位:人)

保 育 園	定員	実人数	職 員 数							備 考
			園 長	保 育 士		看 護 師	調 理 師		計	
				正 規	会 計 年 度 任 用 職 員	会 計 年 度 任 用 職 員	正 規	会 計 年 度 任 用 職 員		
富 士 根	120	140	1	11	13	0	1	3	29	育児休業中2
大 岩 明 倫	90	99	1	8	11	0	1	3	24	育児休業中2
大 富 士	90	88	1	7	10	0	1	3	22	
北 山	90	73	1	8	7	0	1	2	19	
上 井 出	90	44	1	7	1	0	0	3	12	育児休業中1
白 糸	60	26	1	2	5	0	0	2	10	育児休業中2
山 宮	90	77	1	7	8	0	1	2	19	
大 宮	150	139	1	13	15	1	1	4	35	育児休業中3
井 之 頭	45	33	1	4	1	0	0	3	9	
西	120	85	1	7	9	0	0	4	21	産前休暇1
明 星	90	88	1	7	10	0	1	3	22	育児休業中1
粟 倉	90	81	1	7	7	0	1	3	19	
柚 野	90	31	1	4	2	0	0	3	10	育児休業中1
地域子育て支援センター(富士根)			-	2	1	0	-	-	3	
地域子育て支援センター(大宮)			-	3	0	0	-	-	3	
地域子育て支援センター(西)			-	3	0	0	-	-	3	
計	1,215	1,004	13	100	100	1	8	38	260	

(2) 要望事項等

子どもたちが安心安全に保育園で過ごせるよう、感染症対策など様々な対策を行っています。引き続き、子ども未来課と連携しながら適切な保育環境が保たれるよう要望します。また、保護者へ積極的に声かけを行うことで、育児に悩みがある保護者の相談相手となるよう要望します。

定期監査では2園(粟倉・大岩明倫)において、予備監査・監査委員監査を実施しました。

## ◎ 健康増進課

### 1 職員の配置状況(令和3年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
保 健 総 務 係	2	1	3	
母 子 保 健 係	16	19	35	
健 康 増 進 係	15	3	18	育児休業中1
計	34	23	57	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

若年がん患者等支援のための助成事業は、若年がん患者の経済的負担の軽減を図るために有効であることから、引き続き医療機関等と連携しながら、制度拡充のための啓発活動を行うよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

事業については、市のホームページ等で周知していますが、医療機関や相談機関にはチラシを作成・配布しながら事業の理解を得ています。

特にがん専門医療機関のケースワーカーとは連携を密にとり、ケースワーカーが患者に事業を紹介した場合、電話等で直接連絡を頂き、円滑に申請ができるようにしています。

また、サービス事業所との調整が難しい患者の場合は、自宅に訪問し、サービス事業所の選択から申請、サービス調整まで、本人や家族と相談しながら進めています。

今後も、医療機関や相談機関、市民に対し事業の周知啓発を行いながら、若年がん患者等の支援に努めます。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和3年11月5日現在)

#### (1) 一般会計

##### ① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
992,889,000	199,779,398	198,992,922	786,476	20.0	99.6

##### ② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
2,038,513,000	883,090,762	1,155,422,238	43.3

## (2) 介護保険事業特別会計

## ① 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
8,373,000	1,252,652	7,120,348	15.0

## 4 母子保健法による妊婦健康診査及び乳幼児健康診査の実施状況(令和3年11月1日現在)

(単位:人・%)

種 別	対象人員 A	実施人員 B	実施率 B/A
妊婦健康診査(人数は初回健診)	444	428	96.4
産婦健康診査(1人2回実施)	836	741	88.6
新生児聴覚検査	420	389	92.6
4か月児健康診査	406	384	94.6
10か月児健康診査	429	407	94.9
1歳6か月児健康診査	443	445	100.5
2歳児歯科健康診査	0	0	令和3年度中止
3歳児健康診査	541	526	97.2

## 5 健康増進法による健康診査の実施状況(令和3年11月1日現在)

(単位:人・%)

種 別	対象人員 A	実施人員 B	実施率 B/A
胃がん検診	82,772	4,376	5.3
大腸がん検診	82,772	6,489	7.8
前立腺がん検診	29,848	2,480	8.3
胸部検診(肺がん・結核)	82,772	14,919	18.0
乳がん検診	43,099	1,716	4.0
子宮頸がん検診	55,216	1,602	2.9
肝炎ウイルス検診	10,539	605	5.7
骨粗しょう症検診	3,115	255	8.2
歯周疾患検診	2,589	145	5.6
健康診査(被保護者)	472	9	1.9
計	393,194	32,596	8.3

## 6 要望事項等

子育て応援ヘルパー等の派遣事業により、育児の不安や負担感の軽減を図り、妊産婦がひとりで悩むことなく安心して育児ができるよう、引き続き関係機関と連携し、利用者の増加に繋がるよう利用促進のための周知を要望します。また、新型コロナウイルスワクチン接種事業を引き続き実施しますが、市民の接種の不安を取り除くため、効果的な広報を行うよう要望します。

## ◇ 都 市 整 備 部

### ◎ 管 理 課

1 職員の配置状況(令和4年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
管 理 係	4	1	5	
公 共 用 地 係	5	1	6	
国 土 調 査 係	5	1	6	
計	16	3	19	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

道路・河川占用料の未納については、滞納整理や利用状況の確認を実施したこともあり、大幅に減少しました。占用制度の認識不足が一因であることから、制度や手続きについて広く周知し、丁寧な説明を心がけるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

占用料の未納者に対しましては、督促通知や納付書の再送付、更には電話や訪問での督促を行い徴収率の向上に取り組んでおります。

また、専用物件の権利の移転や占用者の住所変更、廃止等の各種手続きがされないことも未納となる要因であることから、許可書交付時に説明を行い周知に努めております。

#### (3) 未処理事項の処理予定

今後も、占用の制度内容について、広く理解していただけるよう周知に努めてまいります。

3 予算の執行状況(令和4年1月4日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
65,307,000	52,494,594	52,443,237	51,357	80.3	99.9

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
159,798,000	106,394,989	53,403,011	66.6

4 道路及び河川の占用料収入状況(令和4年1月4日現在)

(単位:円・件・%)

区分	調 定 額		収 入 済 額		収 入 率	
	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数
道路占用	44,213,504	3,876	44,176,447	3,869	99.9	99.8
河川占用	8,130,100	1,440	8,115,900	1,432	99.8	99.4
計	52,343,604	5,316	52,292,347	5,301	99.9	99.7

5 地籍調査の状況(令和4年1月4日現在)

(単位:km<sup>2</sup>・%)

調査対象区域面積 A	調査済面積 B	実施率 B/A	調 査 実 施 地 区
317.93	76.27	23.99	麓・根原・杉田・人穴・猪之頭・上井出 外神・青木・宮原・淀師・淀平町 万野原新田・粟倉・村山 山宮・大岩・小泉の各一部 長貫・大久保・西山・上稲子・羽鮒

6 要望事項等

国土調査事業は、土地の境界をめぐるトラブルの未然防止だけでなく、開発事業の用地取得の円滑化が図れるなど土地の有効利用の観点からも重要な事業であることから、引き続き、住民に対し地籍調査の趣旨、メリットを十分に説明し理解を得ながら事業を進めるよう要望します。また、土地の埋め立て等の規制については、パトロールを実施し現地確認を行うなど迅速な対応を心がけています。今後も市民からの情報提供、関係機関及び関連部署との情報共有を図り、違反者に対し迅速、厳正な対応を要望します。

## ◎ 道 路 課

### 1 職員の配置状況(令和4年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
建 設 係	6	2	8	
維 持 係	6		6	
調 査 修 繕 係	3	2	5	
計	16	4	20	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

1級市道出水新梨線ほか1路線改良事業は、調査、設計に基づき用地交渉及び物件移転補償を進めています。事業の完成により、国道139号線の渋滞緩和が期待できることから、引き続き適切な説明、対応を心がけながら住民の理解を得て事業が進むよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

権利者に用地取得及び物件移転補償について説明を行い、現在までに事業用地を約38%(面積ベース)取得しました。これにより普通河川慈眼寺沢周辺とその西側の道路用地を取得したことから、この河川を渡る道路計画に必要なボックスカルバートと高低差約8mの盛土擁壁工事を行いました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

工区全体の、権利者と用地取得および物件移転補償について、引き続き適切な説明や対応を行い、合意を得ながら整備を進めていきます。

### 3 予算の執行状況(令和4年1月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
408,878,000	14,994,984	14,994,984	0	3.7	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,361,682,000	629,317,272	732,364,728	46.2

#### 4 道路パトロールの状況

	区 分	令和3年12月31日現在	前年度実績
道路補修作業	路面舗装穴埋(箇所)	1,096 (995)	1,156
	路面路肩段差補修(箇所)	1,633 (2,344)	3,198
	路面陥没補修(箇所)	37 (22)	25
	アスカーブ設置(m)	22.5 0.0	5
側溝清掃・修理	側溝または暗渠清掃・土砂片付け(箇所)	38 (22)	56
	グレーチング修理(枚)	106 (111)	150
	側溝蓋騒音防止・架け替え(枚)	222 (166)	179
パトロール	道路確認等 走行距離(km)	16,349 (17,581)	23,343
	要望等箇所調査(箇所)	0 0	0
その他	袋詰めアスファルト合材 使用数(袋)	1,678 (1,745)	2,244
	土嚢作成(袋)	0 (105)	105
	土嚢運搬・設置(袋)	100 (80)	80
	凍結防止塩化カルシウム配布(袋)	0 (6)	6
	凍結注意看板設置・撤去(枚)	25 0	2
	カーブミラー等修整(枚)	46 (28)	41
	草刈り・街路樹剪定(路線)	43 (48)	56
	デリネーター等設置・撤去(本)	32 (17)	18

※下段( )内は前年度同期の実績

#### 5 要望事項等

橋りょう点検は、5年に1度近接目視点検を行う定期点検を実施することが義務化され、現在2巡目の定期点検を実施中ですが、橋りょうは生活道路で重要な役割を果たし、通行に問題が発生すると市民生活に多大な支障をきたすことから、適切な時期に修繕ができるよう、定期点検で得られた情報を的確に把握、分析し、管理するよう要望します。

## ◎ 河川課

### 1 職員の配置状況(令和4年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
計 画 係	3		3	環境企画課環境エネルギー室 主任主査が兼務1
工 事 係	5	1	6	下水道課 主幹が併任1 技師が併任1
計	9	1	10	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

河川の除草、清掃及び支障木の撤去について、市民からの要望も増加しており、災害対策としても有効なことから、予算の確保及び効率的に事業が行われるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

河川断面を侵し、溢水の恐れのある場所や、護岸が崩れてしまう恐れのある支障木などを考慮し、優先順位を付け対応しました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

近年要望が多くなっていますが、支障木自体が個人の財産となることから、隣接の土地所有者や自治会などの確認が取れない場合や、民地の場合は事前に説明を行い、協議して対応しております。

3 予算の執行状況(令和4年1月4日現在)

(1) 一般会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
46,292,000	1,187,220	1,187,220	0	2.6	100.0

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
526,781,000	173,196,856	353,584,144	32.9

4 要望事項等

水門の維持管理に関する方針の策定のため、令和3年度から5年間の予定で市内全域の水門調査を実施しますが、水門の現状を把握することは、水害対策として有効であることから、的確な調査を実施し、治水対策のための取り組みを行うよう要望します。

## ◎ 都市計画課

### 1 職員の配置状況(令和4年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
参 事	1		1	
計 画 係	4		4	
土 地 対 策 係	5		5	
景 観 係	3	1	4	
計	14	1	15	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

都市計画法違反への指導は適切に行われています。引き続き、的確な指導を行うとともに届出の必要性を周知するよう要望します。

また、関係課と連携しながら策定している無電柱化推進計画については、景観はもとより地震や台風などの自然災害への対策上も重要なため、市民の理解を得ながら計画に沿って無電柱化を推進するよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

都市計画法違反への指導について、今後も定期的なパトロールを実施し、違反行為を発見をした場合には指導要綱に基づいた指導を行います。届出の必要性は市ホームページやパネル展を活用し周知しておりますが、随時内容の見直しを行います。

無電柱化推進計画については、令和3年3月に策定しました。引き続き、関係課と連携しながら、計画に沿って無電柱化を推進して参ります。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和4年1月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
7,420,000	6,180,075	6,180,075	0	83.3	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
126,138,000	74,974,878	51,163,122	59.4

## 4 都市計画法等による許可申請の状況(令和4年1月6日現在)

(単位:件)

区 分	受 付 件 数	備 考
開 発 行 為 許 可 申 請	15	うち変更許可 5件
建 築 行 為 許 可 申 請	74	
60 条 申 請	48	うち一括交付 7件
計	137	

## 5 要望事項等

市街化調整区域における各集落拠点の実態把握から地域の課題を抽出し、その課題解決に向け運営支援を行うモデル地域の選定を行っていますが、どの地域も同様な課題があることから、モデル地域が他の地域の見本となり、課題解決に向け、住民が主体となった取り組みが他の地域にも波及するような事業となることを要望します。

## ◎ 都市整備課

### 1 職員の配置状況(令和4年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
市 街 地 整 備 係	4	1	5	育児休業中1
街 路 整 備 係	5		5	
計	10	1	11	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

都市計画道路田中青木線が事業認可されたことに伴い、関係地権者説明会を実施するなど事業が本格化します。今後、用地測量、物件調査を実施しますが、地権者に対しては、生活の不安を取り除くためにも丁寧な説明を心がけるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

令和3年度において、用地測量及び一部物件調査が完了し、補償説明の準備が整った箇所から説明を開始しております。

用地事務研修会などへの参加や用地事務関係の書籍により、職員の知識の向上を行い丁寧な説明を心がけてまいりました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

今後も引き続き、職員一人一人の知識の向上を図り、丁寧な説明を行うよう、努めてまいります。

### 3 予算の執行状況(令和4年1月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
179,528,000	1,247,254	1,247,254	0	0.7	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
296,785,000	87,928,263	208,856,737	29.6

### 4 要望事項等

富士宮駅前広場の施設整備は、利用者や事業者の意見を参考に、機能の充実、安全面の確保などを考慮しつつ基本設計を実施しています。今後は実施に向けた詳細設計に入りますが、工事に関し関係機関の協力が得られるよう協議の継続を要望します。

## ◎ 建築住宅課

### 1 職員の配置状況(令和4年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
住 宅 管 理 係	4		4	
建 築 指 導 係	6		6	
審 査 係	5		5	
計	16	0	16	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

市営万野住宅D棟の本体建築工事については、計画に基づいて進められていますが、既に完成した棟には入居者がいることから、今後も安全面に配慮しながら工事を進めるよう要望します。

また、空き家に関する相談会を県と連携し実施していますが、少子高齢化社会の進展により、空き家の問題は、今後も増加することが考えられることから、継続して有効利用を念頭に置きつつ、解決に向けて取り組むよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

D棟の建設工事においては、工事区域を仮囲いにて区分けし、車両出入りについても交通整理を配置するなど安全に配慮した施工に努めています。

令和3年6月、空き家等に関する総合的な対策を推進するため、静岡県司法書士会と協定を締結しました。また、空き家等の除却費用の一部を補助する制度を始めており、1件の活用がありました。今後も空き家等の適切な管理、有効活用の促進に取り組んでまいります。

#### (3) 未処理事項の処理予定

空き家等の問題への対策としましては、司法書士、宅建士、建築士などと連携を図り、広域相談会や、出前講座を定期的で開催する予定です。

3 予算の執行状況(令和4年1月4日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
448,045,000	137,102,415	100,385,981	36,716,434	22.4	73.2

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
465,226,000	180,934,113	284,291,887	38.9

4 市営住宅の状況

(単位:戸・%・ポイント)

区分	管理戸数 A	入居戸数 B	入居率 B/A
令和3年12月31日現在	749	506	67.6
令和2年12月31日現在	739	488	66.0
比較増減	10	18	1.6

5 市全体の確認件数 (令和4年1月6日現在)

(単位:件)

住宅 共同住宅	併用住宅	工場	その他 計画通知	工作物 昇降機	計
430	8	8	36	25	507

(注) 指定確認検査機関で確認した件数を含む。

6 市で処理した確認・検査件数 (令和4年1月6日現在)

(単位:件・円)

確認申請	計画変更	中間検査	完了検査	計	手数料
15	2	2	14	33	481,000

7 建築基準法等に規定する許可、認定、指定及び報告の件数（令和4年1月6日現在）（単位:件）

許可	認定、承認等	指定(法第42条関係)			報告(法第12条関係)		
		第1項第4号	第1項第5号	第2項	第1項	第3項	第5項
12 (14)	3 (2)	0 (1)	9 (9)	1 (0)	46 (68)	339 (379)	1 (8)

(注) 下欄( )は、前年度同期

8 長期優良住宅建築等計画認定件数（令和4年1月6日現在）（単位:件・円）

長期優良住宅建築等計画認定件数	手数料
169 (133)	2,517,000 (1,995,000)

(注) 下欄( )は、前年度同期

9 低炭素建築物新築等計画認定件数（令和4年1月6日現在）（単位:件・円）

低炭素建築物新築等計画認定件数	手数料
6 (4)	28,000 (18,000)

(注) 下欄( )は、前年度同期

10 要望事項等

空き家の除去費用の一部補助制度の創設は、今後増加が予測される空き家対策として、空き家所有者の費用の負担軽減を図り、防犯上の観点からも有効であることから、補助事業について積極的な広報を要望します。

## ◇ 水 道 部

### ◎ 水道業務課・水道工務課

#### 1 職員の配置状況(令和3年12月1日現在)

##### (1) 水道業務課

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
庶 務 係	4		4	
営 業 係	2		2	
計	8	0	8	

##### (2) 水道工務課

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
工 務 係	7		7	
管 理 係	5	1	6	
給 水 係	7		7	
計	20	1	21	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

老朽管布設替工事は、安定した水道水の供給のために必要な事業ですが、人口減少による給水量の低下に伴う収益の減少が懸念されることから、引き続き効率的に事業を実施し、経費削減に努めるよう要望します。

##### (2) 処理済の事項

老朽管布設替事業は、富士宮市水道ビジョンに基づき、年度ごとの事業量の平準化を図りながら、管路更新計画により優先順位を定め、効率的に実施してまいります。

併せて、他課との同調工事の実施、適正な入札執行などにより経費の削減に努めてまいります。

##### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況

#### (1) 一般会計(令和3年12月3日現在)

##### ① 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
10,952,000	4,737,000	6,215,000	43.3

#### (2) 水道事業会計(令和3年11月30日現在)

##### ① 収益的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
2,030,398,000	1,244,790,073	1,040,562,565	204,227,508	51.2	83.6

##### ② 収益的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,877,416,000	623,113,159	1,254,302,841	33.2

##### ③ 資本的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
266,268,000	36,036,000	30,789,000	5,247,000	11.6	85.4

##### ④ 資本的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,313,467,000	964,049,440	349,417,560	73.4

#### 4 業務の状況

区 分	単位	令和3年9月30日現在	令和2年9月30日現在	比較増減
行政区域内人口 A	人	130,371	131,477	△ 1,106
計画給水人口 B	人	129,100	129,100	0
給水人口 C	人	124,223	125,226	△ 1,003
行政区域内普及率 C/A	%	95.3	95.2	0.1 ㊦
計画給水普及率 C/B	%	96.2	97.0	△ 0.8 ㊦
給水戸数	戸	55,271	55,016	255
総配水量(183日分) D	m <sup>3</sup>	9,977,760	9,900,632	77,128
1日平均配水量	m <sup>3</sup>	54,523	54,102	421
給水量(183日分) E	m <sup>3</sup>	8,192,739	8,216,532	△ 23,793
1日平均給水量	m <sup>3</sup>	44,769	44,899	△ 130
有収率 E/D	%	82.1	83.0	△ 0.9 ㊦

#### 5 要望事項等

老朽管布設替や施設の改良工事は、多大な資金が必要になることから、限られた資金の中で効率的に事業を進めるためにも、引き続き富士宮市水道ビジョンに沿った管路更新計画に基づき事業量の平準化を図るとともに、なお一層の経費削減に努めるよう要望します。

## ◎ 下水道課

### 1 職員の配置状況(令和3年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
所 長	1		1	生活排水処理センター所長
業 務 係	5	1	6	
排 水 設 備 係	4	2	6	
建 設 係	5	1	6	産前休業中1
生活排水処理センター	4	1	5	
課 付	2		2	河川課工事係主幹が併任1 河川課工事係技師が併任1
計	22	5	27	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

地方公営企業法の適用を受け、独立採算を意識した事業経営が求められています。下水道事業の経営戦略を策定しておりますが、安定した経営のためにも重要となることから、現状分析をしっかりと行い、明確な経営ビジョンを持って取り組むよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

現状の経営分析、今後の事業計画と事業環境の予測を基に、経営の基本計画である「下水道事業経営戦略(案)」を策定し、11月の全員協議会で説明を行いました。11月中旬から12月中旬までパブリックコメントを実施しています。

安定した経営を行うためストックマネジメント計画に基づき、星山浄化センターの更新事業、管路施設の点検調査を実施しています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

経営戦略策定後は、毎年度事後検証を行い、健全で安定した経営を目指します。

星山浄化センターでは、ストックマネジメント計画による更新事業を進めていきます。管路、マンホールにおいてはストックマネジメント計画による点検・調査結果を基に、令和7年度までに修繕改築計画を策定し、効率的な施設更新を実施していきます。

### 3 予算の執行状況

#### (1) 一般会計(令和3年12月3日現在)

##### ① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
34,891,000	60,000	60,000	0	0.2	100.0

##### ② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
274,892,000	117,368,039	157,523,961	42.7

#### (2) 下水道事業会計(令和3年11月30日現在)

##### ① 収益的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
2,189,127,000	1,158,446,129	1,010,938,752	147,507,377	46.2	87.3

##### ② 収益的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,948,670,000	522,088,197	1,426,581,803	26.8

##### ③ 資本的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
892,369,000	138,325,426	136,618,346	1,707,080	15.3	98.8

##### ④ 資本的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,685,171,000	1,079,186,626	605,984,374	64.0

#### 4 業務の状況

区 分		単位	令和3年11月30日現在	令和2年11月30日現在	比較増減
認 可 区 域 面 積	A	ha	1,816.80	1,816.80	0.00
供 用 開 始 区 域 面 積	B	ha	1,499.57	1,494.40	5.17
面 整 備 率	B/A	%	82.54	82.25	0.29 ㊦
供 用 開 始 区 域 内	戸 数	C 戸	31,843	31,618	225
	水 洗 化 戸 数	D 戸	27,162	26,967	195
	未 水 洗 化 戸 数	C-D 戸	4,681	4,651	30
	うち法定期限到来戸数	戸	2,972	2,715	257
	人 口	E 人	70,811	71,110	△ 299
	水 洗 化 人 口	F 人	62,501	63,049	△ 548
	水 洗 化 率	F/E	%	88.26	88.66
融 資 件 数 ( 累 計 )	G	件	1,033	1,033	0
利 用 率	G/D	%	3.80	3.83	△0.03 ㊦

#### 5 要望事項等

策定した経営戦略に基づき、財政収支予測と実測値を検証、分析することで事業の効率化、経費の削減を図り、財務管理に結び付け経営の健全化に努めるよう要望します。また、星山浄化センターの老朽化による施設の修繕や機器の更新は、ストックマネジメント計画に基づき、効率的な更新を行うよう要望します。

## ◇ 危 機 管 理 局

### 1 職員の配置状況(令和3年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
危機管理監	1		1	
危機管理局長	1		1	
危機管理担当	5		5	警防救急課 消防士長を併任1 警防救急課 消防副士長を併任1
計	7	0	7	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

家庭内で自助について話し合う「家族で防災会議」を企画、実施したことは、自助を見直す良いタイミングと考えます。今後も有効な訓練を企画、実施するよう要望するとともに、不測の事態が発生した場合を想定し、庁内で迅速に情報共有が行われるような体制作りを要望します。

#### (2) 処理済の事項

毎年度、改定した職員災害時行動マニュアルを全職員に配布し、庁内の災害発生対応等について情報共有を行っている。

また、令和2年度及び3年度に、災害時に市として円滑な活動ができるよう、各班において事務分掌の掌握を図るとともに、災害時の感染症対策を見直すことを目的に班ごとに、職員災害時行動マニュアルの事務分掌を基に班行動計画を作成し、必要に応じ、各班で情報連携を行うよう促すように依頼した。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和3年10月4日現在)

#### (1) 歳 入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
78,576,000	2,042,000	2,042,000	0	2.6	100.0

#### (2) 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
165,489,000	56,040,118	109,448,882	33.9

4 自主防災会訓練（総合防災訓練）

（単位：地区・人）

年 度		令和3年度	令和2年度	比較増減
当日	実施地区			
	参加人数			
当日以外	実施地区			
	参加人数			
計	実施地区			
	参加人数			

令和3年度の総合防災訓練は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度に引き続き例年どおりの多数の人が集まる訓練を中止とし、家庭内で自助について話し合ってもらおうと「家族で防災会議」を企画した。

5 要望事項等

防災ラジオの販売が好評だったことから、市民の災害に対する意識の向上が感じられます。災害時における情報発信について、電話、メールサービスなど様々な方法で実施していることを市民に対し広報し、市民の不安解消に役立てるよう要望します。

# ◇ 市 立 病 院

## 1 職員の配置状況(令和3年12月1日現在)

区 分		職 員	会計年度任用職員	区 分		職 員	会計年度任用職員	
	院 長※1	1		医療安全管理室	看護師(再)	1		
	副 院 長※2	1			室 員		1	
診 療 部	部 長※3	2			小 計	1	1	
	科 長	26		地域医療連携室	看護師長	1		
	医 長	11			看護師	4	1	
	医 師	26			社会福祉士	4		
小 計	67	0	室 員		1	2		
診 療 技 術 部	部 長	1			小 計	10	3	
	科 長	4		診療情報管理室	室 員	1	6	
	臨床検査技師	21	1		小 計	1	6	
	診療放射線技師	16		感染対策室	看護師	1	1	
	理学療法士	16			小 計	1	1	
	作業療法士	10		事務部	部 長	1		
	言語聴覚士	3			病院管理課	課 長	1	
	視能訓練士	3				室 長	1	
	臨床心理士				病院管理係	6	16	
	管理栄養士	4			病院経営室	2		
	臨床工学技士	7			用度施設係	6	4	
	看護師		1		医 事 課	課 長※4	1	
用 務 員		2	医 事 係			3	11	
小 計	85	4	情報システム係			3	1	
薬 劑 部	部 長	1			小 計	24	32	
	科 長	1		合 計 655      516      139				
	薬 劑 師	21	1	※1 医療安全管理室室長、感染対策室室長及び地域医療連携室室長を兼務 ※2 外科科長及び診療情報管理室室長を兼務 ※3 病理診断科科長を兼務 ※4 診療情報管理室室長補佐を兼務				
	薬 劑 助 手		5					
小 計	23	6						
看 護 部	部 長	1						
看 護 部	副 看 護 部 長	1		診療部	育児休業中1			
	看 護 師 長	13		診療技術部	育児休業中1、産前産後休暇2			
	助 産 師	11	2	薬剤部	育児休業中2			
	看 護 師	278	28	看護部	産前産後休暇1、育児休業中19、 認定看護師取得のため長期休暇1			
	介 護 福 祉 士		1	事務部	育児休業中1			
	用 務 員		54					
	事 務 員		1					
	小 計	304	86					

## 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

### (1) 要望内容

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により患者数は減少しましたが、医業収益は昨年度並みを維持しており、医師確保の効果が現れています。公立病院を取り巻く環境は、大変厳しい状況がありますが、引き続き感染症対策に万全を期すと共に、本庁や関係機関と連携しながら、安心・安全な診療体制を確保するよう要望します。

### (2) 処理済の事項

今年度は、第5波と呼ばれる急速な感染拡大があり、静岡県内にも緊急事態宣言が発令され、感染症対応病床を地域包括ケア病棟から2階病棟に変更し、感染症対応病床を増床するなど、厳しい状況の中での対応となりました。そのような状況下でも、従事者、院内在中業者等が一丸となり、徹底した感染症対策を実施し、院内クラスター等の重大な事態の発生を防いでおります。

また、市の新型コロナウイルスワクチン接種事業に協力し、当院でも集団接種会場として実施しております。

関係機関等の連携につきましては、市の関係各課との新型コロナウイルス感染症対策本部会議、富士圏域の公立病院、市の医師会、富士保健所等が参加する富士圏域新型コロナウイルス感染症対策連絡調整会議等で、情報共有、連携を図り、地域の診療体制の確保に努めております。

### (3) 未処理事項の処理予定

新型コロナウイルス感染症ワクチンの3回目接種は、令和3年12月より本年1月の間において、順次実施しております。

また、医師確保の効果により、従来と比較し、安定した診療体制の確保を実現しておりますが、今後、呼吸器系内科の医師の確保を重点的に進めていきたいと考えております。来年度においては、従来の医科系大学への働きかけを継続しつつ、紹介業者による医師の募集等も活用しながら医師確保対策を継続していく予定です。

## 3 予算の執行状況(令和3年11月30日現在)

### (1) 病院事業会計

#### ① 収益的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
10,219,271,000	7,329,229,017	5,943,024,301	1,386,204,716	58.2	81.1

#### ② 収益的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
10,909,918,000	6,225,455,989	4,684,462,011	57.1

#### ③ 資本的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
495,693,000	262,545,706	262,545,706	0	53.0	100.0

#### ④ 資本的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
692,483,000	476,976,768	215,506,232	68.9

## 4 診療科別入院・外来患者数

(単位:人)

区 分	入 院			外 来		
	令和3年 11月30日現在	令和2年 11月30日現在	比較増減	令和3年 11月30日現在	令和2年 11月30日現在	比較増減
内 科	17,000	16,907	93	23,826	23,533	293
循環器内科	5,771	5,828	△ 57	5,454	5,343	111
小 児 科	1,627	1,365	262	6,927	5,922	1,005
外 科	6,930	8,121	△ 1,191	6,386	6,285	101
整形外科	9,624	9,512	112	6,027	5,047	980
脳神経外科	4,747	5,056	△ 309	1,163	1,156	7
皮 膚 科	1,219	1,203	16	6,960	6,504	456
泌尿器科	1,699	1,542	157	4,160	3,501	659
産婦人科	5,976	4,000	1,976	10,695	8,393	2,302
眼 科	2,071	1,872	199	8,396	8,625	△ 229
耳鼻咽喉科	1,450	1,716	△ 266	5,525	4,826	699
放射線科	0	0	0	2,214	3,300	△ 1,086
麻 酔 科	0	0	0	23	6	17
計	58,114	57,122	992	87,756	82,441	5,315

## 5 要望事項等

医師確保を積極的に行い、安定した診療体制の確保に努めた結果、医業収益が増加しています。引き続き、診療体制の充実を図り医業収益の向上に努めるとともに経費削減に向けた取り組みを行うよう要望します。また、徹底した感染症対策の継続に努め、市民が安心して受診できるよう要望します。

## ◇ 会 計 管 理 局

### 1 職員の配置状況(令和3年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
会計管理者兼局長	1		1	
審 査 係	5	1	6	
計	6	1	7	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

新型コロナウイルス感染症対策事業の実施の影響もあり、資金の運用は難しい状況ですが、関係部署と情報共有を図り、資金管理に努めることを要望します。また公金の取り扱いについては、関係規則等を遵守するとともに、事故防止に十分注意を払い、ミスが生じないための注意喚起を徹底するよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

資金管理については、各課提出の資金計画を基に、日々、資金不足にならないよう注視しています。

また、公金の取扱いについては、現金取扱課への訪問調査時の指導等、的確な事務処理が行われるよう継続的な取組を行っております。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和3年11月5日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
602,000	360,030	360,030	0	59.8	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
6,524,000	3,911,931	2,612,069	60.0

4 基金及び出資金等の保管状況(令和3年10月31日現在)

基金	金額 (円)	出資金・出捐金等	金額 (円)
財政調整基金	5,267,006,556	県農業近代化資金出資金	890,000
学校施設整備基金	475,231,623	富士宮市土地開発公社出資金	5,000,000
社会福祉施設整備基金	440,924,079	県漁業信用基金協会出資金	7,000,000
山下サダ育英奨学基金	20,620,437	(社)県家畜畜産物衛生指導協会出資金	440,000
土地取得基金	534,171,499	県農業信用基金協会出資金	1,700,000
水と緑の創生基金	65,595,190	(財)富士宮市振興公社出資金	11,000,000
減債基金	308,687,906	(社)県緑化推進協会基金出資金	844,000
職員退職手当基金	359,511,298	富士森林組合出資金	650,000
道の駅朝霧高原地域振興施設整備基金	139,833,003	死亡獣畜処理基盤強化基金出資金	8,508,000
観光施設整備基金	5,722,164	富士コミュニティエフエム放送(株)出資金	4,450,000
災害対策基金	304,066,856	地方公共団体金融機構出資金	7,300,000
世界遺産富士山基金	80,644,725	県信用保証協会出捐金	12,503,000
庁舎整備基金	792,410,007	(財)県グリーンバンク出捐金	180,000
職員共済基金	12,020,000	(財)県勤労者信用基金協会出捐金	8,378,000
池田教育基金	24,000,000	(財)県文化財団基本財産出捐金	3,487,000
国際交流基金	100,000,000	(財)砂防フロンティア整備推進機構出捐金	700,000
地域福祉基金	68,721,997	(財)県腎臓バンク出捐金	1,300,000
農村地域活動支援基金	10,000,000	(財)県暴力追放運動推進センター出捐金	3,460,000
ふるさと応援基金	208,048,166	(財)しずおか健康長寿財団出捐金	1,220,000
森林環境基金	44,432,891	富士宮市救急医療協会出捐金	15,000,000
新型コロナウイルス感染症対策基金	21,177,363	(社)静岡県山林協会出捐金	16,179,000
経済変動対策貸付資金利子補給基金	265,750,778	(財)静岡県障害者スポーツ協会出捐金	865,000
地域創生基金	10,000,045		
国民健康保険給付等支払準備基金	641,056,018		
介護保険給付等支払準備基金	766,583,154		
北山財産区基金	631,412,824		
上井出区財産区基金	423,244,000		
猪之頭区財産区基金	100,496,000		
小 計	12,121,368,579	小 計	111,054,000
		合 計	12,232,422,579

5 要望事項等

資金不足とならないよう各課の歳入歳出の状況把握に努めています。引き続き、資金管理を徹底し資金不足とならないよう、財政当局との連携を密に行い各課の状況把握に努めるよう要望します。また、会計処理についても、各課に対し会計規則及び事務処理手順を遵守するよう、引き続き指導を行うことを要望します。

## ◇ 消 防 本 部

1 職員の配置状況（令和3年8月1日現在）

（単位：人）

区 分		職員	計	備 考	
消 防 長		1	1		
消 防 次 長		1	1	予防課長を兼務	
消 防 総 務 課	課 長	1	5		
	総 務 係	4			
	課 付	6	6	静岡県消防防災航空隊へ派遣1、 消防学校へ入校5	
予 防 課	課 長	兼務	8	消防次長が兼務	
	予 防 審 査 係	4		育児休業中1	
	予 防 査 察 係	4			
警 防 救 急 課	課 長	1	18		
	参 事 兼 救 急 管 理 係 長	1			
	警 防 係	6		危機管理局危機管理担当 主査を併任1、主事を併任1	
	救 急 管 理 係	2			
	情 報 指 令 室	参 事 兼 情 報 指 令 室 長		1	富士市・富士宮市消防通信指令事務協議 会へ派遣
		指 令 係		7	富士市・富士宮市消防通信指令事務協議 会へ派遣7
中 央 消 防 署	署 長	1	65		
	副 署 長	2			
	庶 務 係	8			
	予 防 係	8			
	警 防 係	12			
	救 急 係	8			
	芝 川 分 署	分 署 長		1	
		警 防 係		12	
東 分 署	分 署 長	1			
	警 防 係	12			
西 消 防 署	署 長	1	63		
	副 署 長	2			
	庶 務 係	6			
	予 防 係	6		再任用1	
	警 防 係	6			
	救 急 係	8			
	北 分 署	分 署 長		1	
		警 防 係		20	
	上 野 分 署	分 署 長		1	
		警 防 係		12	
合 計		167	167		

## 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

### (1) 要望内容

本格的な人口減少社会の到来や多様化する生活様式による住民意識の変化に伴い、消防団員の確保は、益々厳しくなるものと考えます。消防団員数の検討が議論されて久しいため、期限を意識し、集約した地域住民の意見や地域の実情を踏まえ、対応策の策定に取り組むことを要望します。

救急患者の搬送、受け入れを円滑に行うため組織の見直しを行い、医療機関との連携体制の強化に努めていますが、新たに発生した問題点については検証、改善を行い、救急隊員の負担軽減が進むよう要望します。

### (2) 処理済の事項

消防団員数を含めた消防団組織再編計画について、令和元年度から令和2年度にかけて、団本部、各分団及び要望のあった区に対して説明を行った。

その結果を踏まえ、今年度、正副団長間で調整会議を2回実施した。

救急患者の搬送、受け入れについては、医療機関と連携を密に取り、発生した問題点については情報を共有し、検証、改善が図られ、救急隊員の負担軽減が進んでいます。

### (3) 未処理事項の処理予定

団本部との間で「必要な団員数」の算定を進め、今後の社会情勢等、環境の変化に対応するよう、様々な視点で定数の見直しについて協議、検討を行っています。

## 3 予算の執行状況(令和3年8月4日現在)

### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
171,037,000	2,343,004	2,287,216	55,788	1.3	97.6

### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,700,400,000	509,834,141	1,190,565,859	30.0

#### 4 火災発生状況

区 分		令和3年7月31日現在	令和2年7月31日現在	比 較 増 減
出 火 件 数	建 物 件	10	7	3
	林 野 件	0	0	0
	車 両 件	0	2	△ 2
	そ の 他 件	2	5	△ 3
	計 件	12	14	△ 2
焼 損 棟 数	棟	15	9	6
建 物 焼 損 面 積	m <sup>2</sup>	654.0	96.0	558.0
林 野 焼 損 面 積	a	0	0	0
死 者	人	0	0	0
負 傷 者	人	1	2	△ 1
り 災 世 帯 数	世帯	6	2	4
り 災 人 員	人	19	5	14
損 害 額	千円	12,972	10,757	2,215

#### 5 立入検査等の状況(令和3年7月31日現在)

(単位：件・人)

区 分	件 数	延 人 員
防火対象物	<u>66</u> ( 118 )	<u>162</u> ( 290 )
危険物施設	<u>48</u> ( 42 )	<u>161</u> ( 126 )
計	114 ( 160 )	323 ( 416 )

(注) 下欄( )は、前年度同期

#### 6 消防車の出動状況(令和3年7月31日現在)

(単位：件・台・人)

出 動 件 数	出 動 台 数	出 動 人 員
<u>230</u> ( 218 )	<u>320</u> ( 254 )	<u>1,100</u> ( 925 )

(注) 下欄( )は、前年度同期

7 救急車の出動状況(令和3年7月31日現在) (単位:件・人)

出動件数	搬送件数	搬送人員
1,686 ( 1,498 )	1,601 ( 1,416 )	1,605 ( 1,434 )

(注) 下欄( )は、前年度同期

8 消防団員の状況(令和3年8月1日現在) (単位:人)

区 分		団 員 数	定 数
団本部	団 長	1 ( 1 )	32
	副 団 長	4 ( 4 )	
	分 団 長	21 ( 21 )	
	班 長	1 ( 1 )	
	団 員	7 ( 10 )	
	計	34 ( 37 )	
分団	第1分団～ 第28分団	626 ( 630 )	778
合 計		660 ( 667 )	810

(注) ( )は、前年度同期

9 要望事項等

医療機関との連携、情報共有を行った結果、救急患者の搬送、受け入れは改善しましたが、引き続き、医療機関へ正確な情報提供が出来るよう訓練を重ね、救急搬送が円滑に実施できるよう要望します。また、救急安心センター事業は、事業費負担に目途がついたことから、事業主体である県への働きかけを継続して行い、早期に運用開始が始まることを要望します。

## ◇ 教 育 部

### ◎ 教育総務課

#### 1 職員の配置状況(令和3年9月1日現在)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
総 務 係	4	2	6	
施 設 経 理 係	5	1	6	
計	11	3	14	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

学校現場に出向き学校の意見を聴取することで施設の状況を把握し、児童生徒が安心、安全な学校生活を送れるよう施設の維持管理に努めております。長寿命化工事については、児童生徒数の長期的な予測をふまえた改修計画のもと、学校や資産活用課等関連部署と連携しながら実施するよう要望します。

##### (2) 処理済の事項

学校現場へは毎年「営繕箇所要望ヒアリング」で各学校に赴き、学校要望を聴取し、施設の状況を把握するように努めております。その上で、案件ごとに優先順位付けを行い、修繕等実施することにより、児童生徒が安心、安全な学校生活を送れるよう施設の維持管理を実施しております。

また、長寿命化工事等の大規模修繕工事については、資産活用課等関連部署と連携し、児童生徒数の将来推計を注視しながら学校施設の改修計画を実施していきたいと考えております。

##### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和3年9月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
556,002,000	76,360	76,068	292	0.0	99.6

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,492,552,000	404,764,381	1,087,787,619	27.1

4 要望事項等

児童生徒が安心、安全な学校生活を送れるよう施設の維持管理に努めておりますが、修繕、長寿命化工事の対象となる学校施設を多く抱えていることから、経費を抑えるためスケールメリットを活かした修繕計画等を関連部署と連携しながら検討することを要望します。

## ◎ 学 校 教 育 課

### 1 職員の配置状況(令和3年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
参 事	1		1	病欠休暇中1
学 事 係	4		4	
教 職 員 係	2		2	
指 導 係	5	13	18	
計	13	13	26	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

文部科学省が掲げたG I G Aスクール構想を受け、全児童生徒用に1人1台パソコンを導入しますが、児童生徒には、使用ルールを遵守するよう繰り返し指導を行い、適正利用と機器の管理を徹底するよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

使用ルールに関しては、ICT活用推進委員会において、内容を検討し作成しました。出来上がったものを先行導入の学校で指導し、課題を踏まえたうえで、「端末使用ルール(学校版)」として修正を行い、各校へ配布しました。各校の実態に合わせて最終版を作成して指導を行っているため、若干の違いはありますが、市内でおおむね統一したルールの中で端末を使用しています。現状、各校において適切に指導を行っていただき、適正に利用できているととらえておりますが、使用実態により、ルールの見直しは常に必要となります。使用ルールについては、現在学校で使用しているものを取りまとめ、見直しをしているところです。ルールの見直しはICT活用推進委員会において随時行い、使用実態に合ったものとするようにしていきます。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和3年9月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
21,605,000	7,718,079	7,716,879	1,200	35.7	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
996,284,000	359,954,343	636,329,657	36.1

4 要望事項等

導入が計画されている統合型校務支援システムは、教職員の業務軽減が期待されることから、操作研修を実施するなど稼働に向け準備を進めるとともに、システムエラー等問題発生時の対応を構築するよう要望します。また、1人1台端末の使用においては、学校と情報共有を行い、引き続き使用における課題を把握し、適正に活用されるよう要望します。

## ◎ 社会教育課

### 1 職員の配置状況(令和3年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
生涯学習係	6	2	8	病気休暇中1
家庭・青少年係	4	3	7	
家庭・青少年係 (青少年相談センター)		8	8	
南部公民館		5	5	
富士根北公民館		5	5	
富士根南公民館		6	6	
西公民館		6	6	
芝川公民館		6	6	
柚野公民館		5	5	
上野・北山 地域学習センター		4	4	
白糸・上井出 地域学習センター		2	2	
計	11	52	63	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

青少年相談センターについて、利用者の利便を図るため、新たに夜間相談を実施しました。子どもたちの気持ちに寄り添い、気軽に相談や悩みを打ち明けられる場所として機能するよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

令和2年度は夜間開設によって、小中学生にかかわる相談を97件、子ども・若者支援にかかわる相談を19件、計116件の相談に対応することができた。令和3年度は8月までの5か月で小中学生関連16件、子ども・若者支援関連13件、計29件の相談を受けている。今後も青少年相談センターのパンフレット配布や、夜間開設についての「広報ふじのみや」やラジオ等での周知を通して、悩みや不安等の問題を抱える児童生徒や保護者の思いに寄り添って支援できるように、相談・支援体制の充実を図る。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和3年9月2日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
4,681,000	1,467,835	1,294,989	172,846	27.7	88.2

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
281,587,000	96,023,751	185,563,249	34.1

### 4 公民館等施設利用状況

(単位:人)

区 分	令和3年8月31日現在	令和2年8月31日現在	比較増減
南 部 公 民 館	6,250	2,539	3,711
富 士 根 北 公 民 館	5,187	2,924	2,263
富 士 根 南 公 民 館	9,881	6,320	3,561
西 公 民 館	8,122	3,858	4,264
芝 川 公 民 館	3,842	1,898	1,944
芝川公民館内房分館	654	261	393
柚 野 公 民 館	1,583	796	787
小 計	35,519	18,596	16,923
上野地域学習センター	7,002	4,246	2,756
北山地域学習センター	3,098	2,155	943
白糸地域学習センター	455	203	252
上井出地域学習センター	828	457	371
小 計	11,383	7,061	4,322
合 計	46,902	25,657	21,245

### 5 要望事項等

青少年相談センターは相談業務の充実を図り、相談者が相談しやすい環境を整えるよう心掛けています。相談者の気持ちに配慮した対応を要望するとともに、相談員にかかる負担が大きいため相談員に対する適切な支援が行われるよう併せて要望します。

## ◎ 文化課

### 1 職員の配置状況(令和3年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	教育部参事、埋蔵文化財センター所長及び市史編さん室長を兼務
埋蔵文化財センター 所 長				文化課長が兼務
市史編さん室長				文化課長が兼務
芸 術 文 化 係	3	1	4	
学 術 文 化 財 係	3	1	4	市史編さん室学芸員を兼務3
埋蔵文化財センター	2	10	12	文化課長が兼務 市史編さん室学芸員を兼務2
市史編さん室	2	1	3	文化課長が兼務 学術文化財係学芸員が兼務3 埋蔵文化財センター学芸員が兼務2
計	11	13	24	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

史跡大鹿窪遺跡の整備や市民文化会館のリニューアル工事、(仮称)郷土史博物館事業など大型事業が続きます。富士宮市の文化発信の拠点となるよう十分に検討を重ね、より良い施設づくりと貴重な文化遺産の保護に努めていくことを要望します。

#### (2) 処理済の事項

史跡大鹿窪遺跡については、令和2年度に作成した整備基本設計に基づき、整備実施設計の作成に取り組んでいます。貴重な史跡を適切に保護し後世に引き継ぐため、整備委員会を開催し検討しています。

市民文化会館リニューアルについては、平成30年度に耐震診断業務、令和元年度に耐震補強方法検討業務、令和2年度に設備健全度調査業務を実施し、改修検討材料の把握に努めてまいりました。

(仮称)郷土史博物館については、人づくりと貴重な文化財を後世に引き継ぐことができるように、基本構想検討委員会を開催し検討しています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

史跡大鹿窪遺跡については、令和7年度中の完成を目指し、整備を進めます。

市民文化会館について、令和3年度は耐震補強計画策定業務、令和3年度から令和4年度にかけて実施設計。令和4年度末から工事着手予定を目指しています。

(仮称)郷土史博物館については、今年度基本構想策定、来年度に整備基本計画を作成してまいります。

3 予算の執行状況(令和3年9月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
185,719,000	2,473,325	1,416,678	1,056,647	0.8	57.3

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
657,695,000	120,500,505	537,194,495	18.3

4 市民文化会館の利用状況(開館日数148日)(令和3年8月31現在)

(単位:回・人)

区分	大ホール	小ホール	展示室	和室	練習室	計
回数	50 (6)	62 (20)	220 (90)	82 (81)	359 (128)	773 (325)
人員	5,030 (487)	2,883 (668)	8,582 (2,437)	663 (588)	3,562 (1,595)	20,720 (5,775)

(注) 下欄( )は、前年度同期

5 要望事項等

計画されている史跡大鹿窪遺跡整備事業、市民文化会館リニューアル事業及び(仮称)郷土史博物館事業は、関係する機関、部署と連携しながら検討を行い、整備後直ぐに改善が必要となることのないよう綿密な計画を立てるよう要望します。

## ◎ スポーツ振興課

### 1 職員の配置状況(令和3年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
施 設 係	2		2	
振 興 係	4	3	7	
計	7	3	10	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

スポーツ施設ストック適正化計画に位置付けされる施設の中には、複数の課により管理される施設もあることから、有効活用を検討する場合は、相互に調整及び連携を図るよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

スポーツ施設ストック適正化計画では、スポーツ振興課所管の施設のみならず、花と緑と水の課所管の明星山公園野球場、城山公園運動場、白糸自然公園人工芝スポーツ広場も対象施設としております。また、同計画は、教育総務課所管の各小中学校34校の夜間一般開放についても、ソフト面は利用管理、ハード面は屋外夜間照明施設の整備等一部の設備管理を対象としております。同計画は、上記施設の所管課確認の上、調整し策定しました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和3年9月2日現在)

#### (1) 歳 入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
19,370,000	7,023,782	7,000,310	23,472	36.1	99.7

#### (2) 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
602,993,000	378,453,520	224,539,480	62.8

## 4 体育館等施設利用状況

(単位:人)

区 分	令和3年8月31日 現在	令和2年8月31日 現在	比 較 増 減
市 民 体 育 館	58,544	24,617	33,927
市 民 プ ー ル	16,875	3,653	13,222
芝川B&G海洋センター	14,808	3,661	11,147
芝川B&G海洋センタープール	0	0	0
市 民 テ ニ ス コ ー ト	34,745	22,196	12,549
外 神 ス ポ ー ツ 広 場	15,698	7,222	8,476
上 井 出 ス ポ ー ツ 広 場	3,024	2,029	995
物 見 山 ス ポ ー ツ 広 場	4,957	2,977	1,980
山 宮 ふ じ ざ く ら 球 技 場	12,449	5,887	6,562
静 岡 県 ソ フ ト ボ ー ル 場	3,931	860	3,071
芝 川 ス ポ ー ツ 広 場	7,570	2,937	4,633
計	172,601	76,039	96,562

## 5 要望事項等

市民がスポーツ施設を安全、快適に利用するため、施設の維持管理及び整備に努めていますが、施設の維持管理には経費が掛かることから、利用者の負担割合を検討するとともに、将来的な市の負担や活用方法についても検証を行っていくよう要望します。

## ◎学校給食センター

### 1 職員の配置状況(令和3年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	市職員	県職員 (栄養教諭)	市会計年度 任用職員	県会計年度 任用職員 (栄養士)	計	備 考
所 長	1				1	
総 務 係	3		1		4	
-		2		1	3	担当事務内容の一部を市 管理栄養士が担当
計	4	2	1	1	8	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

消滅時効に関する民法改正の影響に対応するため、給食費の債権の管理方法について早急に  
関係部署と検討を行い、集金を担う学校現場とも情報共有を図ることを要望します。

#### (2) 処理済の事項

なし

#### (3) 未処理事項の処理予定

学校給食費については、児童生徒が在学中は学校に徴収手続きをお願いし、卒業後は市がそ  
の管理を引き継いでいます。

民法改正による時効期間の延長により債権行使がより長期間可能となったことから、早急に  
関係部署と対応策を検討し、滞納額の減少に努めていきたいと考えています。

また、現在未納や追納等があった場合、その都度学校と情報共有の上対応しておりますが、  
今後も引き続き学校との協力体制を維持し、適切な債権管理を行ってまいります。

### 3 予算の執行状況(令和3年9月2日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
575,604,000	208,613,016	187,756,124	20,856,892	32.6	90.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,001,797,000	328,688,014	673,108,986	32.8

### 4 要望事項等

富士宮産の食材を使用した給食の実施など地産地消に努めています。地元食材を使用することは、児童、生徒が地元を知る機会を与えると共に食育の観点からも効果があると思われまので、今後も地元食材の情報を収集し、使用拡大に努めるよう要望します。また、学校給食費の未納については、引き続き学校と連携しながら徴収を行い、適切な債権管理を行うよう要望します。

## ◎ 中央図書館

### 1 職員の配置状況(令和3年9月1日現在)

(単位:人)

区 分		職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
中央 図書館	館 長	1		1	
	管 理 係	6	8	14	
	サ ー ビ ス 係	5	16	21	
	計	12	24	36	
西 富士 図書館	館 長	1		1	
	西 富 士 図 書 館	1	4	5	
	計	2	4	6	
芝 川 図書館	館 長	1		1	
	芝 川 図 書 館	1	4	5	
	計	2	4	6	
合 計		16	32	48	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

令和3年度オープン予定の富丘交流センターは、地域における図書館サービスの新たな拠点として利用が大いに期待されることから、地域住民のニーズを的確に捉え、図書の選定、充実に努め、利用者の利便性にも配慮するよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

令和3年4月1日にオープンした富丘交流センターは、近隣に富丘小学校、富丘保育園のほか、交流センターに隣接して児童クラブもあることから、当初から子どもたちの利用を見込んで、所蔵図書の約半数を児童図書としました。

富丘交流センターは、図書館サービスの提供拠点として、他の交流センターと同様に予約図書や返却図書の配送を毎日行っています。

また、毎月2回、中央図書館職員による交流センター利用支援を行い、書架整理、図書館作成資料やチラシの設置、交流センター職員への図書館業務やパソコン操作支援などを行っています。

(3) 未処理事項の処理予定

今後、富丘交流センターの利用状況に合わせて図書の入替、補充なども行い、利用促進に努めます。

3 予算の執行状況(令和3年9月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
131,000	58,641	51,641	7,000	39.4	88.1

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
358,502,000	135,317,422	223,184,578	37.7

4 図書館利用登録数

(単位:人・団体)

区分	令和3年4月1日から 8月31日までの登録数	令和3年8月31日 現在延登録数	令和2年4月1日から 8月31日までの登録数
個人	943	117,367	770
団体	191	335	195

## 5 利用状況（令和3年8月31日現在）

（単位：日・人・冊・回）

区 分	開館(巡回)日数	利用人数	1日当り 利用人数	貸出冊数	1日当り 貸出冊数	備 考
中央図書館	122 ( 122 )	84,139 ( 66,204 )	690 ( 543 )	234,208 ( 183,184 )	1,920 ( 1,502 )	
自動車図書館	117 ( 94 )	13,211 ( 9,801 )	113 ( 104 )	26,254 ( 20,238 )	224 ( 215 )	巡回回数 540 (巡回回数 389)
西富士図書館	122 ( 122 )	12,746 ( 10,606 )	104 ( 87 )	41,703 ( 34,301 )	342 ( 281 )	
芝川図書館	122 ( 122 )	10,071 ( 8,828 )	83 ( 72 )	29,821 ( 27,018 )	244 ( 221 )	
駅前交流 センター	148 ( 148 )	1,577 ( 1,430 )	11 ( 10 )	2,919 ( 2,798 )	20 ( 19 )	
大富士交流 センター	131 ( 131 )	5,513 ( 5,428 )	42 ( 41 )	15,559 ( 15,409 )	119 ( 118 )	
富丘交流 センター	131 ( - )	2,379 ( - )	18 ( - )	7,239 ( - )	55 ( - )	
計	—	129,636 ( 102,297 )	—	357,703 ( 282,948 )	—	

(注) 下欄( )は、前年度同期

## 6 要望事項等

令和3年度から4年度にかけ長寿命化工事及びトイレ、床の改修を実施する予定ですが、工事期間中は利用者の不便が想定されることから、市民への周知徹底と事故防止に努めるよう要望します。

## ◎ 小・中学校

### 1 教職員の配置状況(令和3年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	県 職 員 数		市 職 員 数		計
	正 規	講師・会年	正 規	会計年度任用職員	
小 学 校	445	62	4	105	616
中 学 校	284	39	2	43	368
計	729	101	6	148	984

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

長時間のゲームやスマホ使用による不規則な生活は、体調不良の原因となり、学校生活、学習活動に支障をきたすことから、小さな体調の変化も見逃さないよう、養護教諭を中心に児童生徒の健康状況の把握に努めるとともに、担任、校長、保護者とも情報共有を行い、注意喚起、ルール順守の指導を継続して取り組むよう要望します。

また、公印の保管は厳重に行われており、使用についても指導が行われておりますが、公印使用の重要性を職員一人一人が認識するとともに使用実績の管理を徹底するよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

##### ① 富士宮市立黒田小学校

○長時間のゲームやスマホ等への指導継続・情報共有

- ・毎年高学年がNET安全安心講座を受講し、NETでのマナーや情報リテラシーの大切さについて実際の事例を通して学んでいる。

- ・学期始めや面談時には、富士宮市学校警察連絡協議会で決められている約束（夜8時以降は保護者がスマホ・ゲームを預かる等）を児童・保護者に示し、不規則な生活にならないための心構えについて啓発している。

- ・各月の1日をノーゲーム・ノー動画デーとし、長時間のゲームやスマホの使用を見直す取組を行っている。

- ・ゲームによる不規則な生活のために朝から保健室に来室する児童がいる。そのような児童に対しては、担任が学校での様子を保護者に伝え、家庭での様子を聞くとともに、生活習慣の改善をお願いしている。

- ・睡眠、運動等規則正しい生活を送ることが健康につながることを保健だよりを通して、養護教諭が全校児童に知らせている。

- ・学級では、SNS上での差別問題とコロナ差別とをリンクさせた特別の教科「道徳」による人権教育を行い、正しい情報収集・理解・判断ができるよう各学年に応じた指導を行っている。

○学校印の管理徹底

- ・起案の手順が職員会議資料に示されており、学校印を使用するときは、校長の承認を受けたものであることを確認し、校長・県事務職員のみが押印できることとしている。また、押印は事務室で行い、持ち出さないことを徹底している。

## ② 富士宮市立西小学校

### ○長時間のゲームやスマホ等への指導継続・情報共有

- ・ゲームやスマホのやり過ぎによる不規則な生活にならないように、特に長期休業前には、生徒指導だよりや生徒指導主任の話を通して心構えを啓発し、未然防止に努めている。
- ・ゲームやスマホにおいてトラブルが発生したときは、保護者も加わって当事者同士が話し合ったり、社会教育課指導主事などの専門家の講話を聞いたりするなど再発防止に努めている。
- ・頭痛、気持ちが悪い等の理由で保健室を利用する子供に対しては、養護教諭が生活習慣を指導し、学級担任と情報を共有するようにしている。

### ○公印の保管

- ・年度初めの職員会議において、起案の手順について、資料を用いて説明している。公印を使用する場合は、校長の承認を受けた後、適切に使用している。
- ・学校印を使用するときは、校長室および職員室で行い持ち出さないことを徹底している。

## ③ 富士宮市立芝富小学校

### ○長時間のゲームやスマホ等への指導継続・情報共有

- ・長期休業前に、ゲームやスマホ等の情報機器を上手に活用する方法や危険性について、道徳や学級活動で全学級、授業を実施した。
- ・生徒指導便りや文部科学省がホームページにアップロードしている資料を個人面談で説明しながら各家庭に配布し、ゲームやスマホにより不規則な生活にならないための心構え等について啓発し、子供がゲーム等を原因とした体調不良にならないよう未然防止に努めている。
- ・夏季休業中に保護者に携帯・スマホ・ゲーム等の利用状況に関するアンケートを実施し、子供たちの実態把握に努めると共に2学期の情報モラルに関する授業に生かしていく。また、アンケート結果を各家庭に配布し、生活を見直す機会にする。

### ○学校印の管理徹底

- ・学校印を押すことの意味について、全職員で確認をしている。
- ・起案の手順が職員会議資料に示されており、校長までの起案が回ったのち、校長・事務職員が押印している。
- ・学校印を使用するときは、職員室・校長室で行い、持ち出すことは認めていない。必要な時以外は金庫を施錠して保管している。

## ④ 富士宮市立内房小学校

### ○長時間のゲームやスマホ等への指導継続・情報共有

- ・養護教諭から、長期休業明けに心身のストレスに関するアンケートをとり、不規則な生活やその原因について自己評価をするとともに、2～3か月後に同じアンケートをとって変化を見取り、気になる子の情報を全校職員で共有している。
- ・学級活動の時間を活用し、「ゲームやスマホとの上手な付き合い方」などを扱い、子供たち自身で考える活動を通して意識の向上を図っている。
- ・外部講師を呼び専門家から具体的な例を基に講話を聴く機会を設けている。

### ○学校印の管理徹底

- ・職員会議において全職員に公印使用の重要性の共通意識を図った上で、使用する際は事務職員、教務主任、教頭、校長の確認印を受けた後、適切に使用している。
- ・必要な時以外は金庫から出さないようにして管理している。

#### ⑤ 富士宮市立稲子小学校

##### ○ゲームやスマホ等の使用について

- ・使用時間等の使い方のルールを決めてから使用するよう朝、帰りの会、学活の時間等に指導した。
- ・授業の中でパソコン画面ばかり見ないように時々休憩時間を設定するとともに、ゲームやスマホも同様に休憩時間をとることも指導している。
- ・養護教諭が、生活リズムについての学習会をひらき、ゲームやスマホの長時間使用に関する啓発を行った。
- ・1人1台のPC導入に伴って、メディア機器の使い方や情報モラルに関する指導を行った。その際に、ルールを示したカードを配付し、いつでも見られる・無くさないところに置くように指導した。

##### ○学校印の管理徹底

- ・起案の手順を職員会議時の資料に年間2回は必ず載せ周知している。
- ・公印の管守者は校長であることを確認し、提出書類で公印が必要な場合は起案し、校長起案済ならば事務職員が押印する。

#### ⑥ 富士宮市立第三中学校

##### ○長時間のゲームやスマホ等使用に対する指導継続

- ・生徒指導便りや保健便りなどを通して、ゲームやスマホの使用過多による、生活の乱れ防止の心構えについて啓発し、未然防止に努めている。
- ・教務主任が、全校を対象にした情報教育講座を実施し、情報モラルについての指導を行った。生徒が自分で考える時間を設けることで、自分のこととして考えるようにした。
- ・NTTから講師を招き、「スマホとの上手な付き合い方」について講義をしていただいた。様々な危険な状況について知ることで、意識の向上を図った。
- ・生徒指導部会で「気になる子」に関する情報を共有する場を設定している。そこで得られた情報は、学年部や担任に伝え指導を行うなど、学校体制で対応できるようにしている。
- ・毎月ノーメディアデーを全校で行い、自分の生活を見直す態度を養う機会にしている。

##### ○学校印の管理徹底

- ・学校印を押すことの意味とその重大さについて、年度当初の職員会議において全職員で確認をした。特に若手教員には、繰り返し伝えるようにしている。
- ・起案の手順を職員会議資料に示し、学校印を使用する場合は、起案後、事務職員が押印するようにしている。
- ・学校印の使用は事務室で行い、持ち出さないようにしている。また管理は金庫に保管している。

#### ⑦ 富士宮市立芝川中学校

##### ○長時間のゲームやスマホ等への指導継続・情報共有

- ・生徒指導便りなどを通して、ゲームやスマホにより不規則な生活にならないための心構えについて啓発し、子供がゲーム等を原因とした体調不良にならないよう未然防止に努めている。
- ・学年主任者会において、各主任から「注意を要する生徒」に関する情報を共有する場を設定している。特にゲームやスマホに関する体調不良についての情報が得られた場合、生徒指導部会においても情報共有することで、学校体制で対応できるようにしている。

##### ○学校印の管理徹底

- ・学校印を押すことの意味について、年度当初の職員会議において全職員で確認をしている。
- ・学校印を使用する場合は、起案時、事務職員の確認印を受けた後、適切に使用している。
- ・学校印の押印については、事務室で行い、持ち出さないことを徹底している。

- (3) 未処理事項の処理予定  
なし

### 3 予算の執行状況(令和3年9月2日現在)

#### (1) 歳出(小学校費)

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
50,543,000	19,770,278	30,772,722	39.1

#### (2) 歳出(中学校費)

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
31,709,000	10,660,827	21,048,173	33.6

### 4 児童・生徒の状況

#### (1) 小学校22校(うち分校1校)児童数(令和3年5月1日現在)

(単位:人)

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
普通学級	979	1,064	1,110	1,095	1,137	1,203	6,588
特別支援学級	9	18	32	26	23	24	132
計	988	1,082	1,142	1,121	1,160	1,227	6,720

#### (2) 中学校13校 生徒数(令和3年5月1日現在)

(単位:人)

区分	1年	2年	3年	計
普通学級	1,103	1,191	1,149	3,443
特別支援学級	25	27	24	76
計	1,128	1,218	1,173	3,519

### 5 要望事項等

児童生徒に1人1台パソコンが配備され、端末を使用した授業や家庭学習が行われ活用の幅が広がっています。児童生徒が思いがけない使い方をする場合もあることから、保護者と連携しながら利用ルールを繰り返し伝えていくよう要望します。また、スマホやタブレットの使用が普通になる中で、SNSに潜む危険性を説明し、情報モラルの保持について指導を引き続き実施するよう要望します。

\*定期監査では小学校5校(黒田・西・芝富・内房・稲子)中学校2校(第三・芝川)の7校において、予備監査・監査委員監査を実施しました。

# ◇ 市 議 会 事 務 局

## 1 職員の配置状況(令和3年8月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
事 務 局 長	1		1	
事 務 次 長	1		1	
庶 務 調 査 係	3	1	4	
議 事 係	3		3	
計	8	1	9	

## 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

### (1) 要望内容

タブレット端末の管理については、毎月使用状況を確認するなど適正に管理されており、引き続き管理を徹底されるよう要望します。また、タブレット端末の新たな活用方法として、ビデオ会議機能の使用を検討されていますが、事務局の事務負担軽減につながることから早期の対応を要望します。なお、市議会事務局は、議員と市当局を結ぶ役割を担っていることから、引き続き事務局で得た情報を迅速に議会、市当局へ伝達し、情報の共有化を図るよう要望します。

### (2) 処理済の事項

今後も、毎月使用状況を確認し、適正に管理を徹底していきます。

### (3) 未処理事項の処理予定

ビデオ会議については、フェイスタイムは緊急用として、ズームは採決を伴わない会議等から進めていきたいと考えております。当局からの情報提供についても当局と調整を図り、迅速に進めていきたいと思っております。

## 3 予算の執行状況(令和3年8月4日現在)

### (1) 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
289,173,000	114,699,711	174,473,289	39.7

## 4 要望事項等

議会運営に携わる重要な仕事をされています。引き続き、議員に対しての情報提供には十分注意を払い、正確な情報が迅速に伝わるよう、また、IT機器の活用が充実するよう要望します。

## ◇ 選挙管理委員会事務局

### 1 職員の配置状況(令和3年8月1日現在)

(単位:人)

区 分	職員	会計年度 任用職員	計	備 考
事 務 局 長	1		1	行政課長が併任
選 挙 係	3		3	行政課選挙係 係長を併任1 主任主査を併任1 主事を併任1
計	4	0	4	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

選挙執行にあたり感染症予防のため、他市町に先駆けて新たな取り組みを実施した経験を生かし、今後も市民が安心して投票に行けるよう実施方法の検討を要望します。

また、児童生徒向けの「せんきょ出前講座」は、選挙に対する理解を深め、将来、有権者となった時に有効であると考えられます。引き続き、他市の事例など啓発活動の参考となる情報の収集を行い、選挙への参加意識と投票率向上を図るよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

選挙における感染症対策としては、実績のある手法を基本としつつ、より効果的な感染症対策用品を導入する等、市民の方が安心して投票所に来れる環境を整備してまいります。

また、せんきょ出前講座については、市内小中学校に実施希望の呼びかけを行い、模擬投票等の投票体験を通じて、政治への参画意識のかん養を図ります。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和3年8月4日現在)

#### (1) 歳 入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
119,586,000	22,607,000	22,607,000	0	18.9	100.0

#### (2) 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
156,286,000	38,485,422	117,800,578	24.6

## 4 選挙の執行状況(令和3年8月4日現在)

(単位:%)

選挙名	選挙期日	投票率	備考
県知事選挙	令和3年6月20日	47.97	

## 5 要望事項等

児童生徒向けの「せんきょ出前講座」は、社会への参加意識を実感でき、若年層への啓発としては非常に有効だと思います。今後も継続し、より多くの学校で実施できるよう要望します。

# ◇ 農 業 委 員 会 事 務 局

## 1 職員の配置状況(令和3年8月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
局 長	1		1	農業政策課長が併任
次 長	1		1	振興係長を兼務
振 興 係	3	1	4	
計	5	1	6	

## 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

### (1) 要望内容

農地に関する苦情等は、多くが耕作放棄地であることから、引き続き、農業委員、農地利用最適化推進委員、関係課と連携し、担い手の発掘、遊休地の集積・集約化をはじめ耕作放棄地の解消に取り組むよう要望します。また、耕作放棄地は、全国的な問題であり、他市町村の取り組み事例が当市の対策に活用できると思われるので、積極的な情報収集を行うよう要望します。

### (2) 処理済の事項

農地に関する管理上の苦情について、速やかに現場を確認後、農地の適正管理のお願いを行うとともに、農業委員、農地利用最適化推進委員と連携し、状況確認とともに、遊休農地の未然防止に努めるとともに、関係機関と連携し、担い手の発掘、農地の集積・集約化に努め、耕作放棄地の解消に取り組んでいます。また、他市町村の取組事例を参考にし、令和3年4月1日から遊休農地が相当程度存在する区域において、農地の取得要件の緩和を行い、遊休農地対策に取り組んでいるところです。

### (3) 未処理事項の処理予定

なし

## 3 予算の執行状況(令和3年8月4日現在)

### (1) 歳 入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
6,442,000	1,041,900	861,900	180,000	13.4	82.7

### (2) 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
47,311,000	16,542,499	30,768,501	35.0

4 農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積状況(令和3年8月1日現在)

(単位:人・㎡)

利用集積事業	受け手	渡し手	農用地の面積			
			田	畑	その他	計
利用権設定 (貸借)	44 ( 1 )	55 ( 41 )	61,493.00 ( 17,657.00 )	196,941.00 ( 118,746.26 )	32,536.00 ( 0.00 )	290,970.00 ( 136,403.26 )
所有権移転 (売買等)	0 ( 2 )	0 ( 4 )	0.00 ( 0.00 )	0.00 ( 38,438.49 )	0.00 ( 0.00 )	0.00 ( 38,438.49 )
計	44 ( 3 )	55 ( 45 )	61,493.00 ( 17,657.00 )	196,941.00 ( 157,184.75 )	32,536.00 ( 0.00 )	290,970.00 ( 174,841.75 )

(注) 下欄( )は、前年度同期

5 農地法による許可等の状況(令和3年8月1日現在)

(単位:件・㎡)

名 称		件 数	面 積
第3条(農地の所有権等の移動及び権利の設定)		20 ( 20 )	32,831.77 ( 70,901.22 )
第3条第3項 (相続等によって農地を取得した届出)		14 ( 7 )	29,435.94 ( 17,645.00 )
第4条(所有農地の転用)	市街化区域	16 ( 13 )	13,617.89 ( 11,307.67 )
	市街化調整区域	5 ( 6 )	1,682.54 ( 1,514.01 )
第5条(所有権等の権利 移動及び権利の設定に 伴う農地の転用)	市街化区域	45 ( 42 )	17,590.02 ( 22,077.67 )
	市街化調整区域	24 ( 15 )	34,639.98 ( 9,285.65 )
第18条(賃貸借の解約)		7 ( 7 )	53,647.00 ( 8,171.00 )
非農地証明(農地以外の用途で10年を経過)		16 ( 12 )	16,692.00 ( 6,201.00 )
事業計画変更申請及び届出		4 ( 3 )	7,394.00 ( 2,060.00 )
諸 証 明	転用事実確認証明	1 ( 7 )	53.00 ( 5,152.00 )
	耕作証明	28 ( 36 )	
	許可済証明・提出中の証明	20 ( 37 )	

(注) 下欄( )は、前年度同期

6 要望事項等

少子高齢化の影響により遊休農地の問題は、今後も増加すると予測できます。担い手への集積、集約化を図り、耕作放棄地の発生防止及び解消につながるよう、市民からの農地相談、情報提供には適切な対応を心がけるよう要望します。

